EPSON

取扱説明書

マニュアル中の表示の意味

安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。
その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
☛	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
▸▸	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録 用語解説」をご覧ください。☛ p. 65
操作	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
［（表記名）］	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例：［戻る］ボタン
「（メニュー名）」	環境設定メニューの項目を示しています。 例：「画質調整」→「明るさ」
▶	次ページに説明が続いていることを示しています。クリックすると次のページが表示されます。
◀	前ページから説明が続いていることを示しています。クリックすると前のページが表示されます。

目次

便利な機能

環境設定メニュー

困ったときに

付　録

小型で軽量

B5ファイルサイズ(奥行き19.3cm×幅27.3cm×高さ6.8cm)、軽量なコンパクトボディー(1.6kg～1.7kg※)
同梱のソフトキャリングケースには、ケーブル等を収納できる専用のポケットがあるので、持ち運びも楽々。☛ p.71
※EMP-1715/1705:1.7kg、EMP-1710/1700:1.6kg

クールダウン不要ですばやく片付け

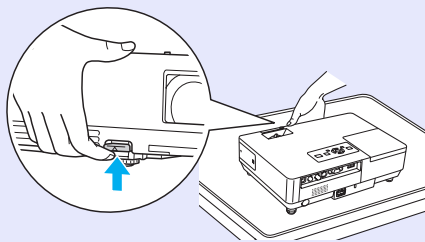
使用後、本機の電源ボタンを押せばクールダウンを待つことなく電源ケーブルを抜き片付けられます。

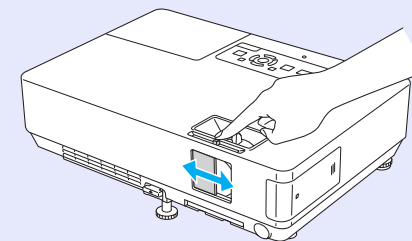
使いやすさ

■ 開始・終了をわかりやすく音でお知らせ

電源をオンにすると「ピッ」、クールダウンが終了すると「ピッピッ」とビープ音が鳴ります。「ピッピッ」と鳴ったら電源ケーブルを抜くことができます。

■ 面倒な本体の水平調整が不要な単脚デザイン

片手で簡単に高さ調整ができます。
☛『セットアップガイド』

■ 投写や収納が簡単なスライド式レンズカバー

シャッターを開閉して投写の中断・再開が簡単にできるため、メリハリのあるプレゼンテーションが行えます。

■ 使いやすい操作パネル

投写機能と調整機能別にボタンを分類し、使いやすく配置しました。
☛ p.7

■ 日本語でわかりやすい本体・リモコン表記

ボタンや端子名を日本語表記し、誰でも簡単に操作できるようにしました。

セキュリティ機能

■ 利用者を制限・管理するパスワードプロテクト

パスワードを設定して、本機を使用する人を制限・管理することができます。☛ p.25

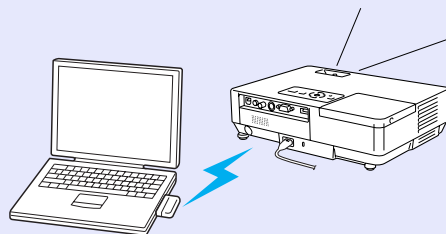
■ 操作パネルのボタン操作を制限する操作ボタンロック

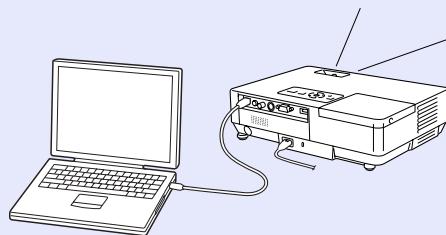
イベントや学校などで使用する際に本機の設定を無断で変更されたり、いたずらされるのを防止できます。

EMP-1715/1705のみ

コンピュータと簡単に接続

コンピュータとワイヤレス接続

無線LANを使って、コンピュータと1対1接続が簡単に。☛『かんたん接続ガイド』
もちろん、アクセスポイントへの接続もできます。☛『EasyMP活用ガイド』

USBケーブルを使って接続(USBディスプレイ)

USBケーブルでコンピュータと接続するだけでコンピュータの画面の映像をそのまま投写できます。☛『EasyMP活用ガイド』

プレゼンテーションを強力サポート

コンピュータを使わないプレゼンテーション

あらかじめ用意したプレゼンテーションをシナリオとしてメディアに収録し、再生するだけ。コンピュータを使わずにプレゼンテーションができます。☛『EasyMP活用ガイド』

スライドショーだけを投写(プレゼンテーションモード)

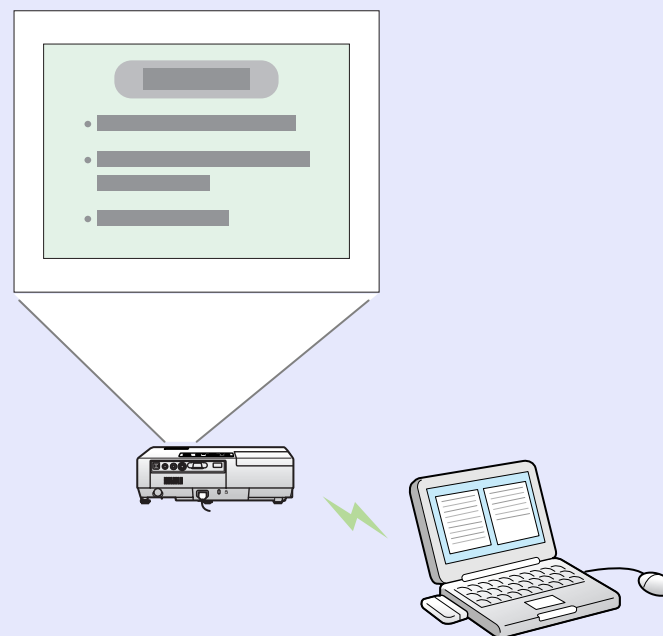
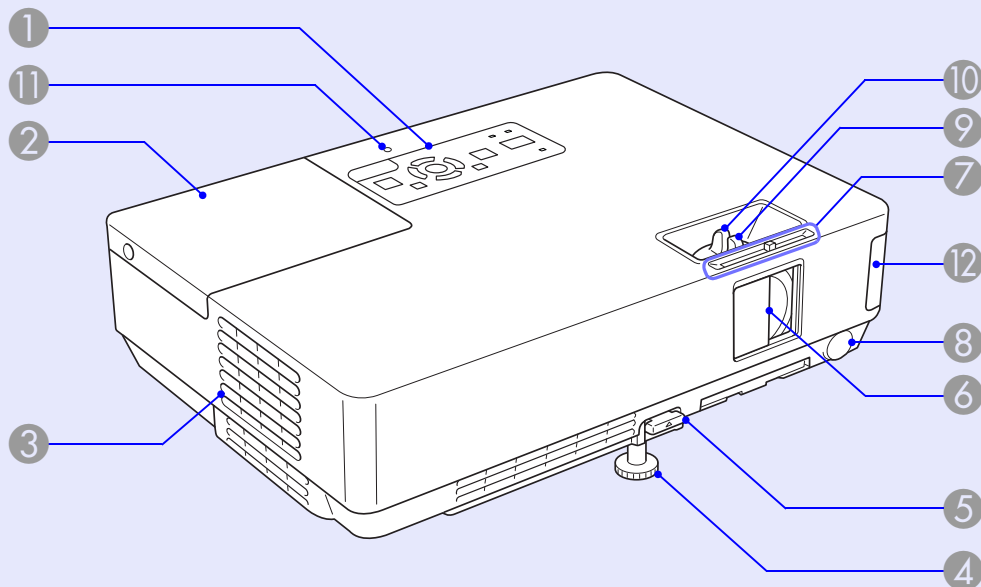
PowerPointのスライドショーの映像だけを投写するプレゼンテーションモード。準備までの操作や他の資料を観衆に見せることなくスマートにプレゼンテーションできます。☛『EasyMP活用ガイド』

無線LANのセキュリティレベルを強化

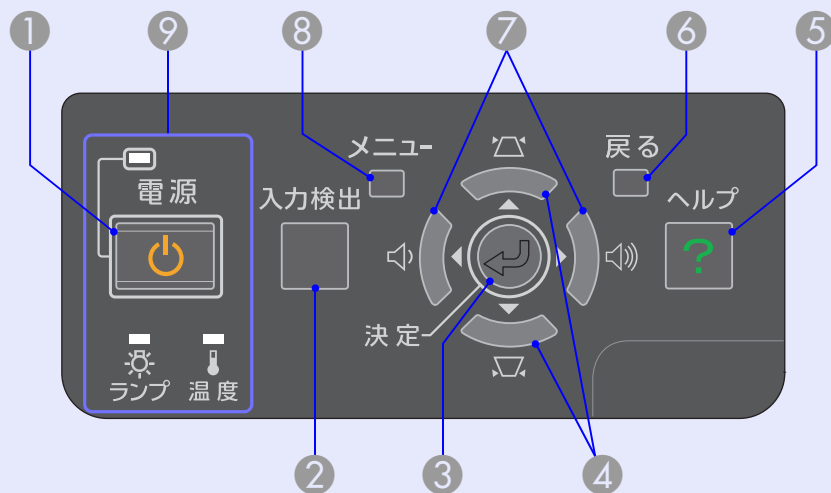
従来機種からセキュリティをさらに強化。ネットワークの一部としても安心してご利用いただけます。☛『EasyMP活用ガイド』

第二、第三の画面を投写(マルチスクリーンディスプレイ)

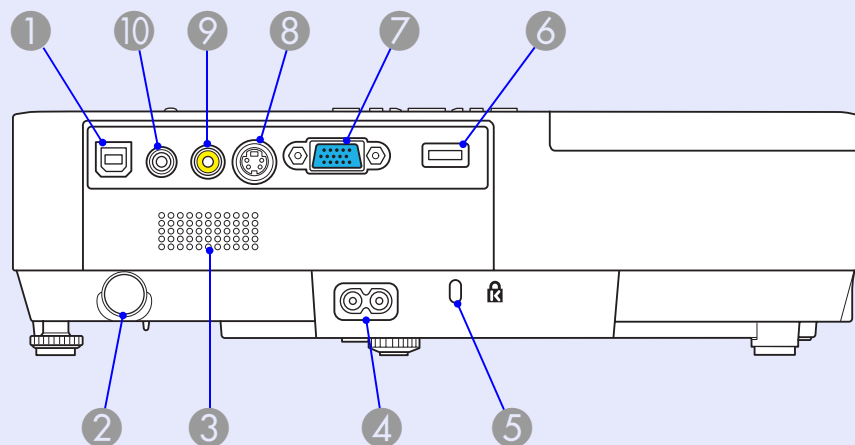
プロジェクターを2台以上使って、コンピュータ上に設定した仮想ディスプレイをそれぞれ投写できます。コンピュータのメインのディスプレイでファイル操作、仮想ディスプレイ上にプレゼンテーションを配置して投写する、といった使い方もできます。
☛『EasyMP活用ガイド』

各部の名称と働き

前面/上面

名称	働き
① 操作パネル	☛ p.7
② ランプカバー	ランプの交換時にこのカバーを開けて、中のランプを交換します。 ☛ p.56
③ 排気口	⚠ 注意 投写中は、排気口の付近に、熱で変形したり、悪影響を受けるものを置いたり、手や顔を近づけたりしないでください。
④ フロントフット	机上に設置したとき、本機を傾けて映像の位置を上に調整するときに伸ばします。

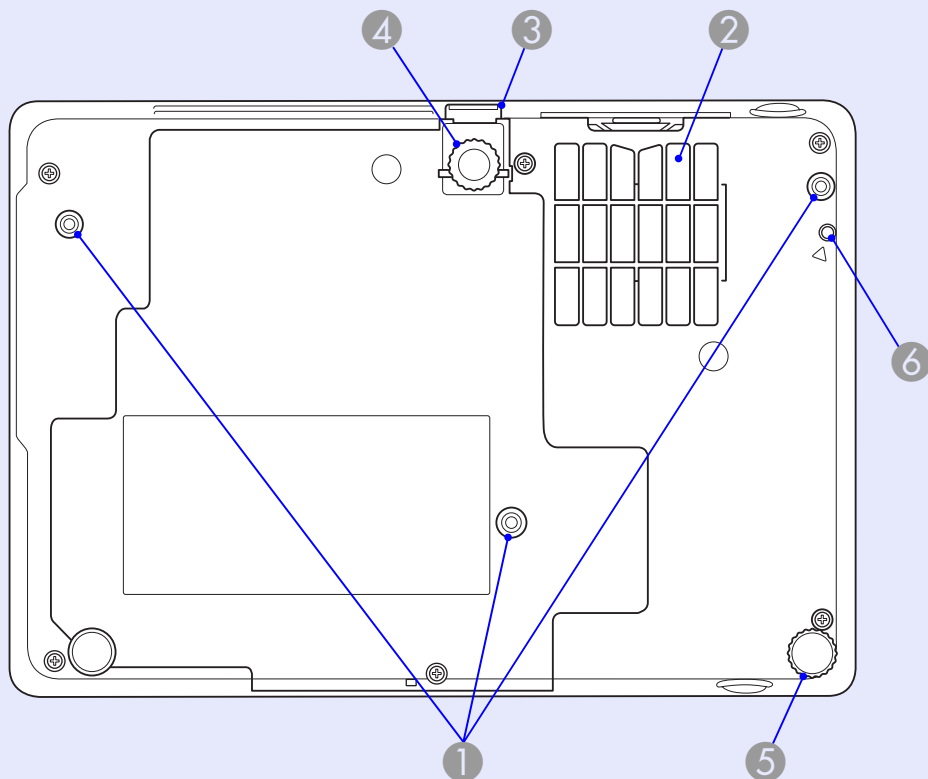
名称	働き
⑤ フットレバー	フットレバーを引いて、フロントフットを伸縮させます。 ☛『セットアップガイド』
⑥ スライド式レンズカバー	プロジェクターを使用しないときに閉じ、レンズを保護します。投写中に閉めると映像と音声を消すことができます(A/Vミュート)。 ☛『セットアップガイド』, p.16
⑦ スライド式レンズカバー操作部	ツマミをスライドさせてレンズカバーの開閉をします。
⑧ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。 ☛『セットアップガイド』
⑨ フォーカスリング	映像のピントを合わせます。 ☛『セットアップガイド』
⑩ ズームリング	映像のサイズを調整します。 ☛『セットアップガイド』
⑪ USBアクセスインジケータ (EMP-1715/1705のみ)	USB Type Aのアクセス状態を点灯・点滅で示します。
⑫ 無線LANユニット (EMP-1715/1705のみ)	本機を使用する前に取り付けます。本機とコンピュータを無線で接続します。 ☛『かんたん接続ガイド』『EasyMP活用ガイド』

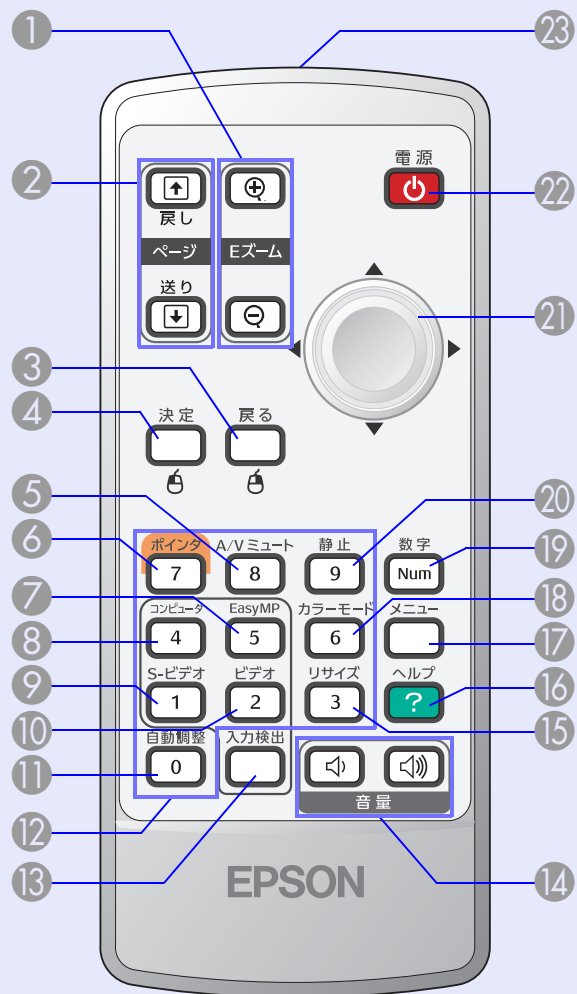
操作パネル

名称	働き
➊ [電源]ボタン	電源をオン/オフします。 ☛『セットアップガイド』
➋ [入力検出]ボタン	次に映像信号が入力されている機器の映像に切り替えます。 ☛ p. 13
➌ [決定]ボタン	コンピュータ映像信号を投写中に押すと、最適に映るようにトラッキング・同期・表示位置が自動調整されます。環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。 ☛ p. 30

名称	働き
➍ [⏢][⏢]ボタン	台形補正するときに押します。 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。 ☛『セットアップガイド』, p. 30
➎ [ヘルプ]ボタン	トラブルの対処方法を示すヘルプを表示/終了します。 ☛ p. 40
➏ [戻る]ボタン	実行中の機能を終了します。 環境設定メニュー表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。 ☛ p. 30
➐ [🔉][🔊]ボタン	音量を調整するときに押します。 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。 ☛ p. 30
➑ [メニュー]ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。 ☛ p. 30
➒ 状態インジケータ	本機の状態を色や点灯・点滅で示します。 ☛ p. 41

背面

名称	働き
❶ USB Type B端子	USBケーブルでコンピュータと接続して、コンピュータの映像を投写します(EMP-1715/1705のみ)。 また、ワイヤレスマウス機能時に、USBケーブルでコンピュータと接続します。 ☛『セットアップガイド』
❷ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。 ☛『セットアップガイド』
❸ スピーカー	
❹ 電源端子	電源ケーブルを接続します。 ☛『セットアップガイド』
❺ セキュリティスロット(🔒)	☛ p.66

名称	働き
❻ USB Type A端子(EMP-1715/1705のみ)	デジタルカメラやUSB対応のメモリを接続し、EasyMPのPC Free機能で画像・動画ファイル、シナリオを投写します。 ☛『セットアップガイド』
❼ コンピュータ(コンポーネントビデオ)端子	コンピュータ映像信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ▸▸信号を入力します。
❽ S-ビデオ端子	ビデオ機器のS-ビデオ▸▸信号を入力します。
❾ ビデオ端子	ビデオ機器のコンポジットビデオ▸▸信号を入力します。
❿ 音声端子	接続機器の音声信号を入力します。 EasyMPのPC Free機能で投写しているときは、環境設定メニューの｢EasyMP音声出力｣の設定により、外部スピーカーへ音声を出力します(EMP-1715/1705のみ)。☛ p.33

底面

名称	働き
❶ 天吊固定部（3箇所）	天井から吊り下げて使うとき、オプションの天吊り金具を取り付けます。 ☛ p.53, 64
❷ エアーフィルタ（吸気口）	吸気時に、本機内部にホコリやゴミが入るのを防ぎます。メッセージが表示されたら掃除または交換してください。 ☛ p.54, 59
❸ フットレバー	☛『セットアップガイド』
❹ フロントフット	机上に設置したとき、本機を傾けて映像の位置を上に調整するときに伸ばします。 ☛『セットアップガイド』
❺ リアフット	水平方向の傾きを調整するときに回して伸縮させます。☛『セットアップガイド』
❻ 無線・有線LANユニット固定用ネジ穴	無線・有線LANユニットを固定するネジ止め用の穴です。☛『かんたん接続ガイド』

リモコン

	名称	働き
❶	[Eズーム]ボタン (⊕)(⊖)	(⊕)投写サイズを変えずに映像を拡大します。 (⊖)[⊕]ボタンで拡大した結果を縮小します。 ☛ p. 19
❷	[ページ送り][ページ戻し]ボタン (⇧)(⇩)	ワイヤレスマウス機能時と、Network presentation実行時は(EMP-1715/1705のみ)、このボタンを押してPowerPointファイルのページ送り/戻しができます。
❸	[戻る]ボタン	実行中の機能を終了します。環境設定メニューを表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。ワイヤレスマウス機能時は、マウスの右ボタンとして機能します。 ☛ p. 30
❹	[決定]ボタン	環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。ワイヤレスマウス機能時は、マウスの左ボタンとして機能します。 ☛ p. 30
❺	[A/Vミュート]ボタン	映像と音声を一時的に消去/解除します。 ☛ p. 16
❻	[ポインタ]ボタン	投写中の映像をポインタで指し示すときに押します。 ☛ p. 18
❼	[EasyMP]ボタン	EasyMPの映像に切り替えます。EMP-1710/1700では使用できません(EMP-1715/1705のみ)。
❽	[コンピュータ(コンポーネントビデオ)]ボタン	コンピュータ(コンポーネントビデオ)端子からの映像に切り替えます。 ☛ p. 14
❾	[S-ビデオ]ボタン	S-ビデオ端子からの映像に切り替えます。 ☛ p. 14

名称	働き
⑩ [ビデオ]ボタン	ビデオ端子からの映像に切り替えます。 ☛ p. 14
⑪ [自動調整]ボタン	コンピュータ映像信号を投写中に押すと、最適に映るようにトラッキング・同期・表示位置が自動調整されます。 ☛ p. 32
⑫ テンキーボタン	パスワード入力やスクリーンIDを指定するときに使います。 ☛ p. 27
⑬ [入力検出]ボタン	次に映像信号が入力されている機器の映像に切り替えます。 ☛ p. 13
⑭ [音量]ボタン	(🔉)音量を下げます。 (🔊)音量を上げます。 ☛ 『セットアップガイド』
⑮ [リサイズ]ボタン	押すたびに、アスペクト比▸▸が切り替わります。 ☛ p. 17
⑯ [ヘルプ]ボタン	トラブルの対処方法を示すヘルプを表示/終了します。 ☛ p. 40
⑰ [メニュー]ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。 ☛ p. 30
⑱ [カラーモード]ボタン	押すたびにカラーモードが切り替わります。 ☛ p. 15
⑲ [数字]ボタン	パスワード入力やスクリーンIDを指定するときに使います。 ☛ p. 27

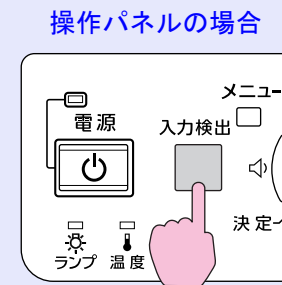
名称	働き
⑳ [静止]ボタン	映像を一時停止/解除します。 ☛ p. 16
㉑ [◎]ボタン	環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値の選択を行います。ワイヤレスマウス機能時は、ボタンを傾けると対応した方向にポインタが移動します。 ☛ p. 30
㉒ [電源]ボタン	本機の電源をオン/オフします。 ☛ 『セットアップガイド』
㉓ リモコン発光部	リモコン信号を出力します。 ☛ 『セットアップガイド』

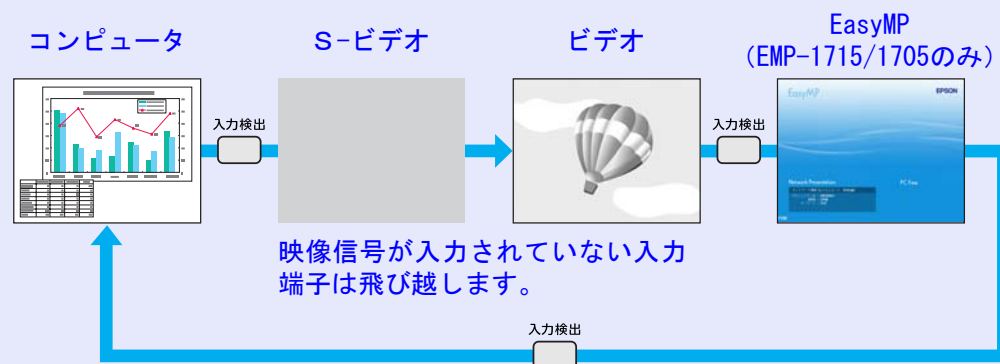
便利な機能

ここでは、プレゼンテーションなどに効果的な機能と、セキュリティ機能について説明しています。

投写映像を切り替える

投写する映像を切り替えるには以下の2通りの方法があります。

- 入力検出で切り替える
  本機に接続している機器から映像信号が入力されているかを自動検出し、映像信号が入力されている機器の映像を投写します。
- ダイレクトに切り替える
  リモコンから目的の入力端子のボタンを押して切り替えます。

入力信号を自動検出して切り替える(入力検出)

[入力検出]ボタンで切り替えると、映像信号が入力されていない入力端子には切り替わりませんので、目的の映像をすばやく投写できます。

※EasyMPはEMP-1715/1705をお使いの場合に切り替わります。
同梱の無線LANユニット(EMP-1715/1705のみ)を必ず取り付けておいてください。

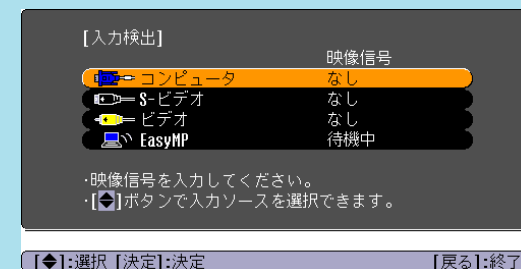
操作

ビデオ機器を接続しているときは、再生状態にしてから操作を開始してください。

リモコンの場合

操作パネルの場合

複数の機器を接続している場合は、目的の映像が投写されるまで[入力検出]ボタンを繰り返し押します。

現在投写されている映像信号しか入力されていない場合や映像信号がまったく入力されていないときは、映像信号の状態を示す以下の画面が表示されます。この画面では投写したい機器を接続している入力端子を選択することができます。何も操作しないと、約10秒で画面は消えます。

リモコンでダイレクトに切り替える

以下のリモコンのボタンを押すと、目的の映像に直接切り替えることができます。

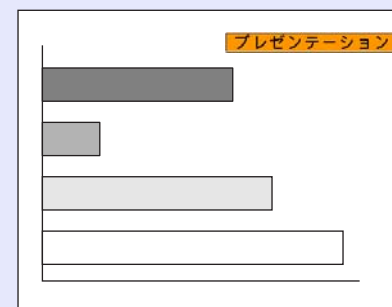
映り具合を選ぶ(カラーモードの選択)

投写時の環境に応じて次の設定から選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが変わります。

モード名	使い方
フォト	(コンピュータ映像信号入力時のみ) 明るい部屋で、写真などの静止画像を投写するのに最適です。 鮮やかで、コントラストのある映像になります。
スポーツ	(コンポーネントビデオ、S-ビデオ、コンポジットビデオ信号入力時のみ) 明るい部屋で、テレビ番組などを楽しむのに最適です。 鮮やかで、臨場感のある映像になります。
プレゼンテーション	明るい部屋で、プレゼンテーションを行うのに最適です。
シアター	暗い部屋で、映画を楽しむのに最適です。自然な色合いの映像になります。
ゲーム	明るい部屋で、テレビゲームを楽しむのに最適です。 暗部の階調表現に優れています。
sRGB▸▸	sRGBに準拠した映像になります。
黒板	黒板(緑色)に投写しても、スクリーンに投写したときのような自然な色合いの映像になります。
カスタム	固有のカラーに設定できます。

操作

リモコン

ボタンを押すたびに画面上にカラーモード名が表示され、カラーモードが切り替わります。

カラーモード名が画面上に表示されている間にボタンを押すと、次のカラーモードに切り替わります。

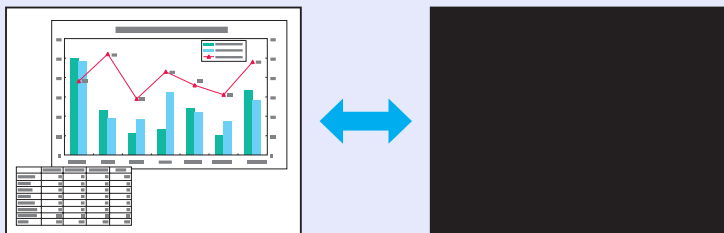
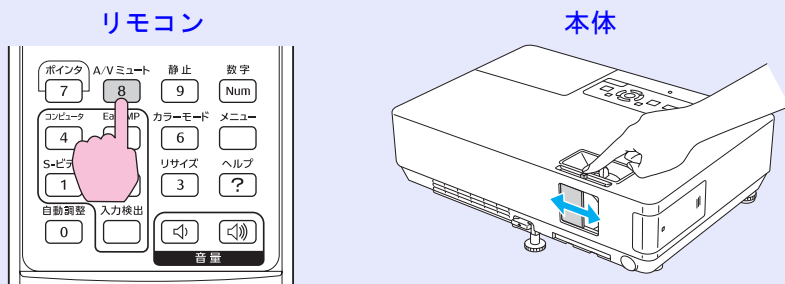
環境設定メニューの「画質調整」→「カラーモード」からも設定できます。☛ p.31

映像と音声を一時的に消す(A/Vミュート)

スクリーンの映像を消して聴衆を話しに集中させたいときや、ファイルの切り替え操作などを見せたくないときに使います。

操作

リモコン

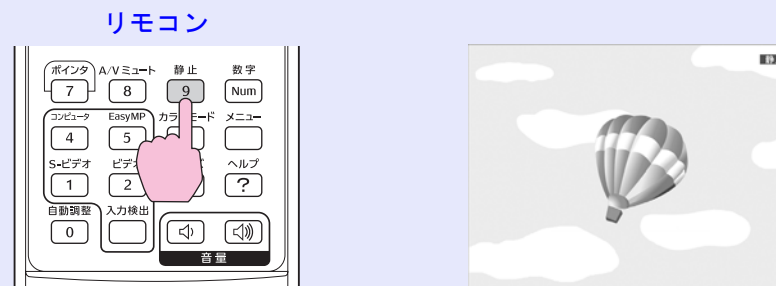
本体

ボタンを押す、またはレンズカバーを開閉するたびにA/Vミュートが実行/解除されます。

- 動画の場合は、A/V ミュート中も映像と音声は進んでいますので、消したときの場面からは再開できません。
- リモコンで操作したときの A/V ミュート中の表示状態は、環境設定メニューの「拡張設定」→「表示設定」→「A/Vミュート」で黒、青、ロゴの中から選ぶことができます。☛ p.34
- レンズカバーを閉じてA/Vミュートを実行しているとき、環境設定メニューの「拡張設定」→「スリープモード」の設定で、約30分後に自動的に電源をオフさせることができます。☛ p.35

映像を停止させる(静止)

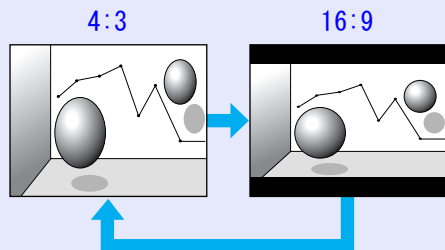
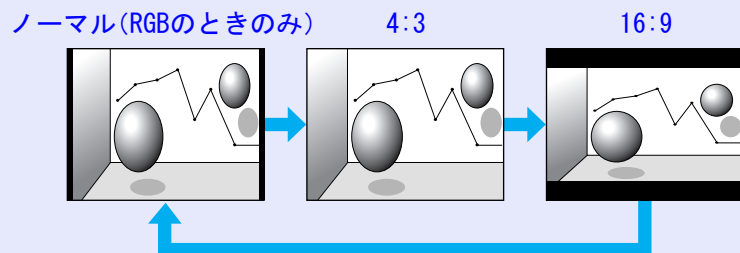
静止を実行したときの画面が投写されたままになりますので、動画の一場面を静止画で投写できます。また、ファイル切り替えの前に静止を実行すれば、操作内容を投写せずに操作できます。

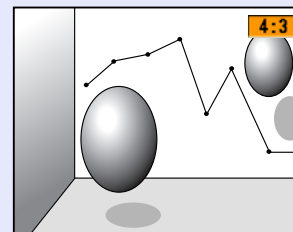
操作

リモコン

ボタンを押すたびに静止が実行/解除されます。

- 音声は停止しません。
- 動画の場合は、停止している間も映像は進んでいますので、消したときの場面からは再開できません。
- 環境設定メニューやヘルプを表示中に[静止]ボタンを押すと、表示中のメニュー・ヘルプは消去されます。
- Eズーム実行中も、静止機能で停止できます。

アスペクト比を切り替える(リサイズ)

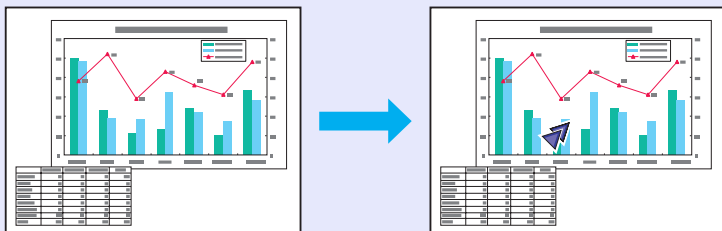
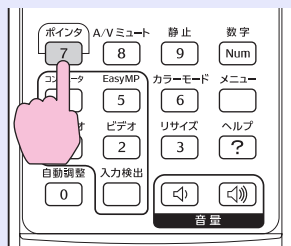
ビデオ機器を接続し、デジタルビデオで録画した映像やDVD映像を16:9のワイド画面で投写できます。スクイーズモードの映像のアスペクトは次のように変更できます。

コンピュータの映像のアスペクトは次のように変更できます。

リモコン

ボタンを押すたびに画面上にアスペクト名が表示され、アスペクトが切り替わります。

アスペクト名が画面上に表示されている間にボタンを押すと、次のアスペクトモードに切り替わります。

環境設定メニューの「映像」→「リサイズ」からも設定できます。☛ p.32

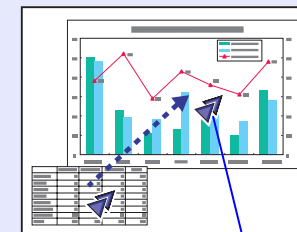
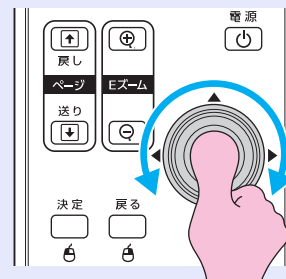
説明箇所を指し示す(ポインタ)

ポインタで映像を指し示し、どこを説明しているかを明確にしたり、注目させるときに使います。

操作

ポインタを表示します。

リモコン

ボタンを押すたびに表示/非表示が切り替わります。

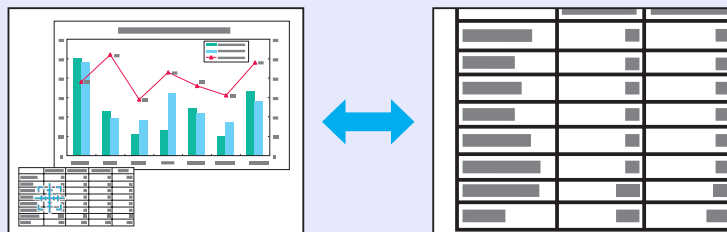
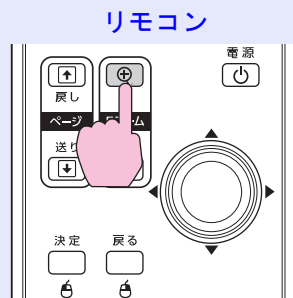
ポインタアイコンを移動します。

リモコン

ポインタアイコン

環境設定メニューの「設定」→「ポインタ形状」でポインタアイコンの形状を3種類(・ ・)から設定できます。
☛ p.33

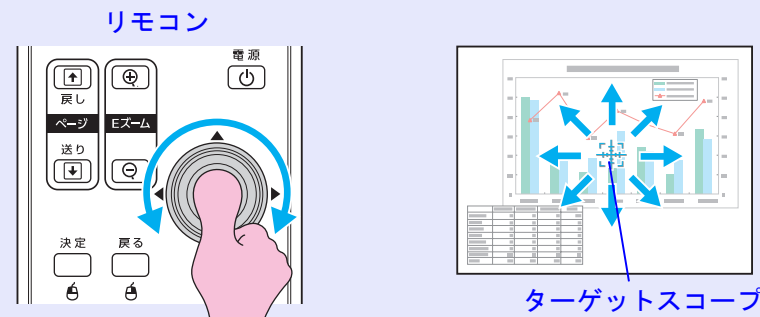
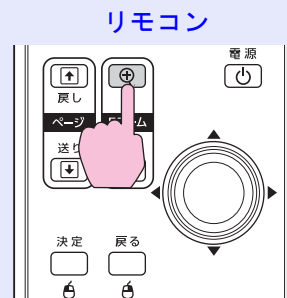
映像を部分的に拡大する(Eズーム)

グラフや表の細目などを拡大して見せたいときに便利です。

操作

Eズームを開始します。

リモコン

2 拡大表示したい部分にターゲットスコープを移動させます。

リモコン

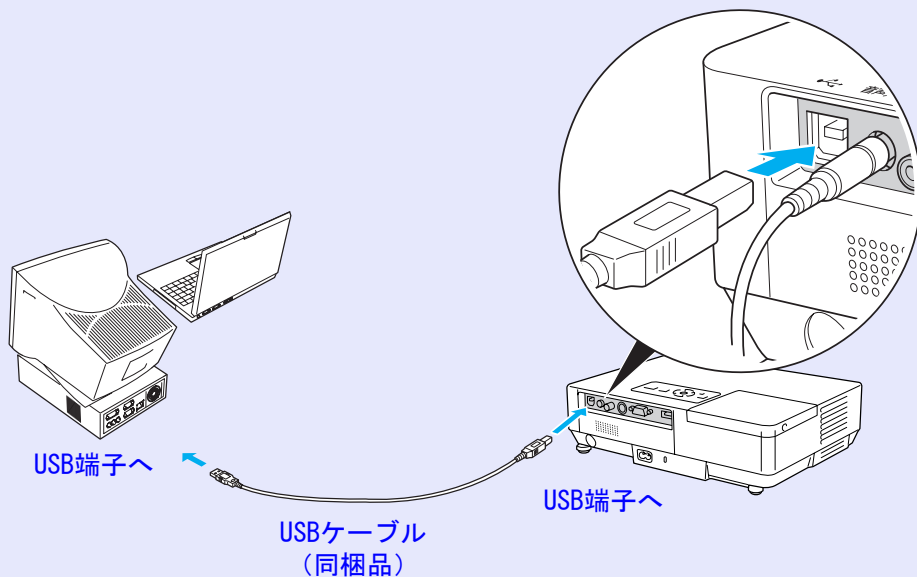
ターゲットスコープ

3 拡大します。

リモコン

ボタンを押すたびに拡大されます。ボタンを押し続けると、すばやく拡大できます。
[⊖]ボタンを押すと拡大した結果を縮小します。
解除するには[戻る]ボタンを押します。

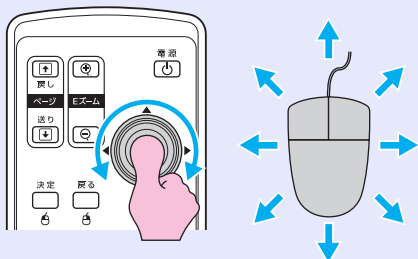
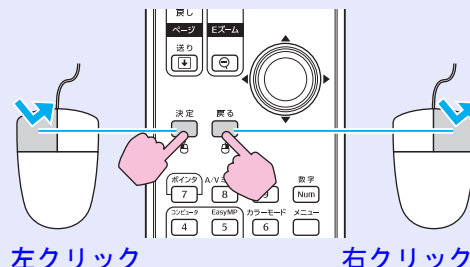
- 画面上に倍率が表示されます。1～4倍まで、25段階で拡大できます。
- [◎]を傾けると、映像をスクロールできます。

リモコンでマウスポインタを操作する(ワイヤレスマウス)

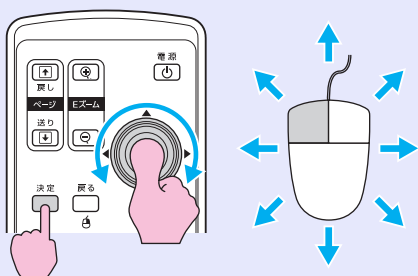
コンピュータのUSB端子と、本機背面のUSB端子を同梱のUSBケーブルで接続すると、ワイヤレスマウスのように、同梱のリモコンでコンピュータのマウスポインタを操作できます。

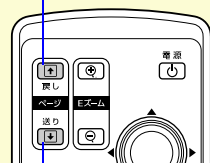
対応コンピュータ
Windows 98/2000/Me/XP Home Edition/XP Professional
Macintosh(OS 8.6〜9.2/10.1〜10.4)

- USBケーブルでの接続は、USB標準搭載モデルにのみ対応しています。 Windowsの場合は、Windows98/2000/Me/XP Home Edition/XP Professionalプリインストールモデルだけに対応しています。アップグレードしたWindows98/2000/Me/XP Home Edition/XP Professional環境下では動作を保証いたしません。
- Windows/Macintosh ともに OS のバージョンによりワイヤレスマウス機能を使用できない場合があります。
- マウスを使用するために、コンピュータ側の設定が必要な場合があります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

接続した後はマウスポインタを次のように操作できます。

マウスポインタの移動

マウスクリック

ダブルクリック:すばやく2回押します。

ドラッグ＆ドロップ

①[決定]ボタンを押したまま、[◎]を傾けてドラッグします。
②任意の場所で[決定]ボタンを離すと、ドロップします。

PowerPoint のスライドショーで、前のスライドを表示/次のスライドを表示

- コンピュータでマウスボタンの左右を逆に設定している場合は、リモコンでの操作も逆になります。
- 次の機能を使用しているときは、ワイヤレスマウス機能は行えません。
  ・環境設定メニューの表示中
  ・ヘルプ表示中
  ・Eズーム機能中
  ・ユーザーロゴのキャプチャ中
  ・ポインタ機能中
  ・音量調整中

本機は複数台並べて並列投写したとき、それぞれの映像の明るさと色合いの違いをマルチスクリーンカラーアジャストメント機能で補正することができます。
補正を行ってもそれぞれの映像の明るさと色合いは完全に一致しないこともあります。

補正手順の概要

補正は、次の手順で行います。

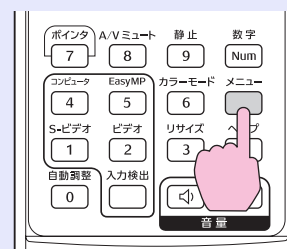
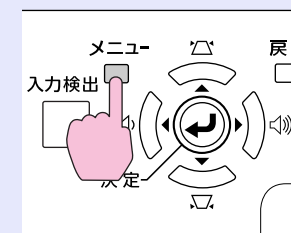
1. **スクリーンIDの設定**
   プロジェクターを設置する前にスクリーンIDを1台ずつ設定しておきます。
   プロジェクターごとに個別のスクリーンIDを設定しておくと、複数台のプロジェクターに対しリモコンで調整の操作をするとき、調整対象となるプロジェクターを選択できます。
2. **画像補正の実施**
   プロジェクターを設置後、各プロジェクターで画像補正を行います。
   画像補正では、黒から白を5段階に区分し各段階をレベル1～5と呼び、このレベル1～5のすべてのレベルに対して次の2点の補正を行います。
   - 明るさの補正
     レベル1～5のすべてのレベルで各映像の明るさが揃うように調整します。
   - 色の補正
     レベル1～5のすべてのレベルで各映像の色味が合うように「色補正(緑ー赤)」と「色補正(青ー黄)」を調整します。

スクリーンIDの設定

例えば、1台のプロジェクターをスクリーンID3に設定後、リモコンで[数字]ボタンを押したまま[3]ボタンを押すと、複数台プロジェクターが設置されていてもスクリーンID3に設定したプロジェクターだけをリモコンから操作できるようになります。

操作

[メニュー]ボタンを押して、環境設定メニューから「拡張設定」→「マルチスクリーン」→「スクリーンID」を選びます。 ☛ p.30

リモコンの場合

操作パネルの場合

使えるボタンと操作はメニューの下に表示されるガイドでご確認ください。

2 設定したいIDを選び[決定]ボタンを押します。

3 [メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

- 操作対象のプロジェクターのリモコン受光部にリモコンを向けて、リモコンで[数字]ボタンを押したまま設定したスクリーンIDの数字のボタンを押すと、以降は指定したID番号のプロジェクターだけが操作対象となります。
- プロジェクターのリモコン受光部にリモコンを向けて、リモコンで[数字]ボタンを押したまま[0]ボタンを押すと、スクリーンIDの設定に関わらずすべてのプロジェクターを操作できます。

- ここで設定したスクリーン ID は「マルチスクリーン」で「画像補正」を行うときに限り有効となります。
- 操作対象でないプロジェクターがリモコン操作に反応してしまうときは、そのプロジェクターのリモコン受光部に向けてリモコンで[数字]ボタンを押したまま操作対象のプロジェクターに設定したスクリーンIDの数字のボタンを押してください。

画像補正の方法

プロジェクターを設置後、プロジェクターごとの明るさと色合いの差が縮まるように調整します。

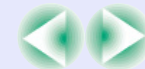
操作

1 [メニュー]ボタンを押して、環境設定メニューから「拡張設定」→「マルチスクリーン」→「画像補正」を選びます。☛ p.30

2 「調整レベル」で調整するレベルを選択します。

- レベルを選択するたびに、選択したレベルのパターンが表示されます。
- どのレベルから調整を始めてもかまいませんが、通常は1→5あるいは5→1のように暗い順あるいは明るい順に調整します。

3 「明るさ補正」で明るさの調整をします。

- レベル5を選択しているときは複数あるプロジェクターのうち最も暗い映像に合わせます。
- レベル1を選択しているときは複数あるプロジェクターのうち最も明るい映像に合わせます。
- レベル2〜4を選択しているときは複数あるプロジェクターのうち中間の明るさの映像に合わせます。
- [決定]ボタンを押すたびにパターン表示/通常の映像表示が切り替わりますので、実際の映像で調整結果の確認や補正を行うこともできます。

4. 「色補正(緑ー赤)」と「色補正(青ー黄)」を調整します。

   [決定]ボタンを押すたびにパターン表示/通常の映像表示が切り替わりますので、実際の映像で調整結果の確認や補正を行うこともできます。

5. すべてのレベルを調整し終わるまで、手順②〜④を繰り返し行います。

6. 調整がすべて終了したら、[メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

本機には、次のセキュリティ機能が備わっています。

- パスワードプロテクト
  本機を使用する人を制限・管理できます。
- 操作ボタンロック
  本機の設定を無断で変更されたり、いたずらされるのを防止できます。

利用者を管理する(パスワードプロテクト)

パスワードプロテクト機能を有効にすると、電源を入れてもパスワードを知らない人は投写できません。さらに、電源を入れたときに表示される社名ロゴ等を変更できなくなります。この結果、本機を持ち出しても使用できないため、盗難等の防止につながります。ご購入時は、パスワードプロテクト機能は無効になっています。

パスワードプロテクトの種類

本機のパスワードプロテクトは利用シーンに応じて次の4種類の設定ができます。

1.「電源投入時」

「電源投入時」を「オン」にすると、電源ケーブルで本機とコンセントを接続後、最初に電源を入れたとき(ダイレクトパワーオンも同様)に、事前に設定してあるパスワードの入力が要求されます。正しいパスワードを入力しないと、投写は開始しません。

2.「パスワードタイマ」

「パスワードタイマ」を「オン」にして「時間設定」をすると、設定した時間が経過した以降に1の「電源投入時」の設定が働くようになります。決められた期間内は本機を自由に起動できるが、期間終了後は利用者を管理したい場合に便利です。

3.「ユーザーロゴ保護」

せっかくプロジェクターの所有者を明示するためにユーザーロゴを登録していても、ロゴ表示を変更されては意味がありません。「ユーザーロゴ保護」を「オン」にすると、ユーザーロゴに関する次の設定変更を禁止できます。

- ユーザーロゴのキャプチャ
- 環境設定メニューの「表示設定」で「背景表示」、「スタートアップスクリーン」、「A/Vミュート」の設定を変更する。

4.「ネットワーク保護」(EMP-1715/1705のみ)

「ネットワーク保護」を「オン」にすると、環境設定メニューの「ネットワーク」の設定変更を禁止できます。

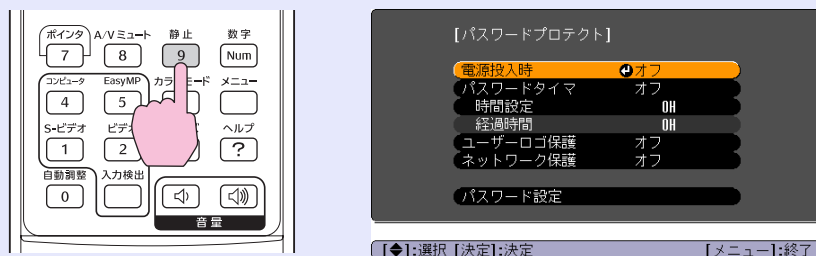
パスワードプロテクトの設定方法

パスワードプロテクトの設定は、下記の手順で行います。

操作

[静止]ボタンを約5秒間押し続けます。

パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。

リモコン

- すでにパスワードプロテクトが有効になっていると、パスワードの入力が要求されます。
  パスワードを正しく入力するとパスワードプロテクト設定メニューが表示されます。☛「パスワードの認証」p.27
- パスワード設定をしたときは、盗難防止の効果をさらに高めるために製品同梱のパスワードプロテクトシールを本機のお好きな位置に貼ってください。

2 「電源投入時」を有効にします。

(1)「電源投入時」を選択し、[決定]ボタンを押します。
(2)「オン」を選択し、[決定]ボタンを押します。
(3)[戻る]ボタンを押します。

3 「パスワードタイマ」を有効にします。

時間設定しない場合→手順4に進んでください。
(1)「パスワードタイマ」を選択し、[決定]ボタンを押します。
(2)「オン」を選択し、[決定]ボタンを押します。
(3)[戻る]ボタンを押します。
(4)「時間設定」を選択し、[決定]ボタンを押します。
(5)[数字]ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンで設定時間を1～9999の範囲で入力し、[決定]ボタンを押します。間違えて入力した場合は、[戻る]ボタンを押して再度入力します。
パスワードプロテクト設定メニューを終了した時点から時間のカウントを開始します。カウントはランプが点灯している間のみ行われ、電源を切っている間は加算されません。
カウントした時間は「経過時間」に表示されます。

「ユーザーロゴ保護」を有効にします。

(1)「ユーザーロゴ保護」を選択し、[決定]ボタンを押します。
(2)「オン」を選択し、[決定]ボタンを押します。
(3)[戻る]ボタンを押します。

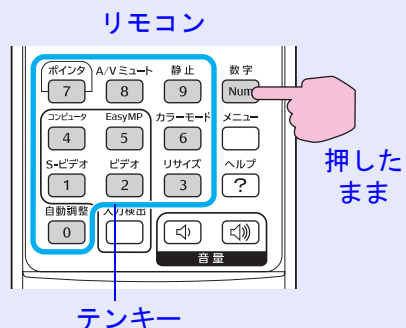
「ネットワーク保護」(EMP-1715/1705 のみ) を有効にします。

(1)「ネットワーク保護」を選択し、[決定]ボタンを押します。
(2)「オン」を選択し、[決定]ボタンを押します。
(3)[戻る]ボタンを押します。

パスワードを設定します。

(1)「パスワード設定」を選択し、[決定]ボタンを押します。

(2)「パスワードを変更しますか？」と表示されるので、「はい」を選択し、[決定]ボタンを押します。初期設定でパスワードは「0000」に設定されています。必ず任意のパスワードに変更してください。「いいえ」を選択すると、手順1の画面に戻ります。

(3)[数字]ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンで4桁の数字を入力します。入力したパスワードは「* * * *」と表示されます。4桁目を入力すると、確認画面に切り替わります。

(4)入力したパスワードを再度入力します。
「パスワード設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。
間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。

パスワードの認証

パスワードの入力画面が表示されたら設定してあるパスワードをリモコンの数字ボタンを使って入力します。

操作

[数字]ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンを押してパスワードを入力します。

正しいパスワードを入力し終わると投写が開始されます。

注意

- パスワードに関してお問い合わせいただいた際は、お客様のお名前や連絡先などをお聞きし、お客様から返送いただいた『お客様情報＋正式保証書発行カード』と照合しご本人様であることを確認させていただきます。同梱の『お客様情報＋正式保証書発行カード』に必要事項を記入して、必ず返送してください。
- 間違ったパスワードを続けて 3 回入力した場合は、「プロジェクターの動作を停止します。」と、メッセージが約5分間表示され、本機がスタンバイ状態になります。この場合は、電源プラグを抜いて差し直し、本機の電源を入れます。パスワードの入力を求める画面が表示されますので、パスワードを正しく入力してください。
- 万一、パスワードを忘れてしまったときは、画面に表示されている「問い合わせコード:xxxxx」の番号を控えて、プロジェクターインフォメーションセンターにご連絡いただき、その指示に従ってください。☛ p.78
- 上記の操作を繰り返し、間違ったパスワードを続けて 30 回入力した場合は、次のメッセージが表示されパスワード入力もできなくなります。「プロジェクターの動作を停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。」☛ p.78

操作を制限する(操作ボタンロック)

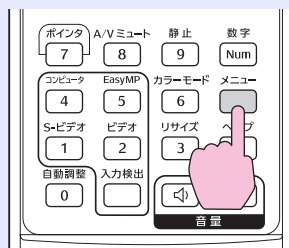
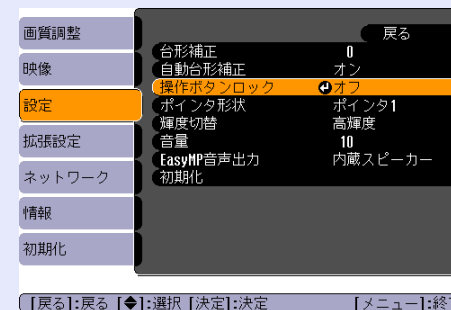
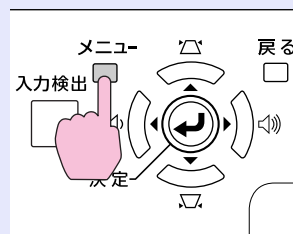
次のどちらかを選んで本機の操作パネルのボタンをロックできます。

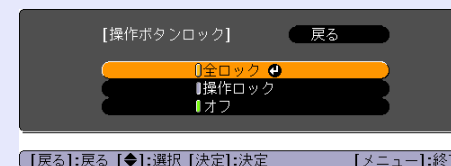
- 全ロック
  操作パネルのボタンをすべてロックします。操作パネルからは電源のオン/オフを含めまったく操作できなくなります。
- 操作ロック
  操作パネルの［電源］ボタンを除くすべてのボタンをロックします。

イベントやショーなどで投写するだけで操作をできないようにしたり、学校などで操作できるボタンを制限したいときに便利です。リモコンからは通常どおり操作できます。

操作

1 **[メニュー]ボタンを押して、環境設定メニューから「設定」→「操作ボタンロック」を選びます。****☛「環境設定メニューの操作」p.30**

リモコンの場合

操作パネルの場合

使えるボタンと操作はメニューの下に表示されるガイドでご確認ください。

2 **「全ロック」か「操作ロック」のどちらかを選択します。**

3 **確認のメッセージが表示されるので、「はい」を選びます。**

設定に従い、操作パネルのボタンがロックされます。

操作パネルのボタンロックを解除するには、次の2通りの方法があります。

- リモコンを使って、環境設定メニューの「設定」→「操作ボタンロック」を「オフ」に設定します。
- 操作パネルの［決定］ボタンを約7秒間押し続けると、メッセージが表示され、ロックが解除されます。

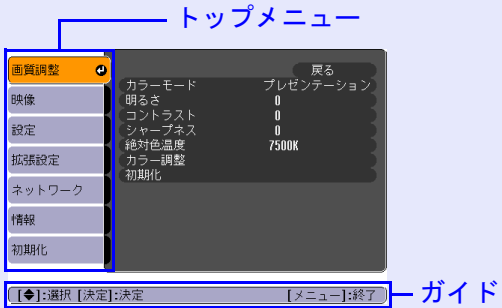
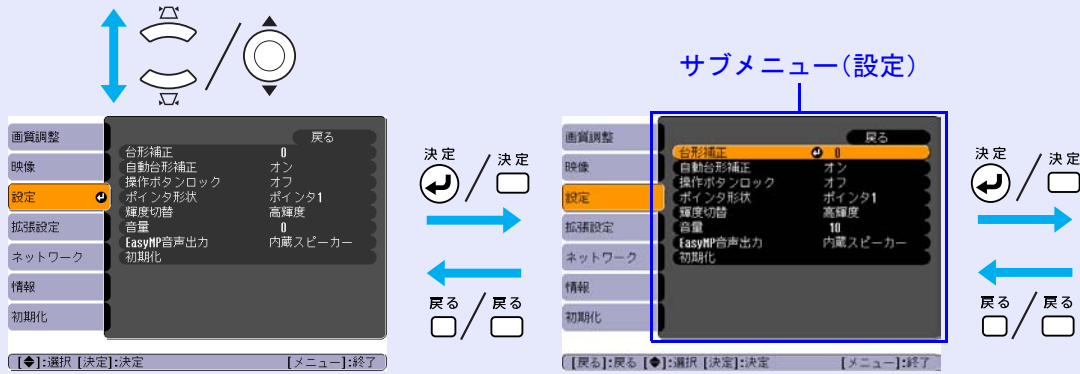
環境設定メニュー

ここでは、環境設定メニューの機能と操作方法について説明しています。

トップメニューの選択

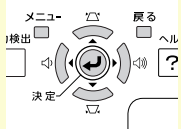
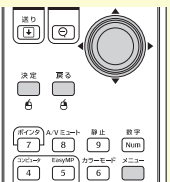
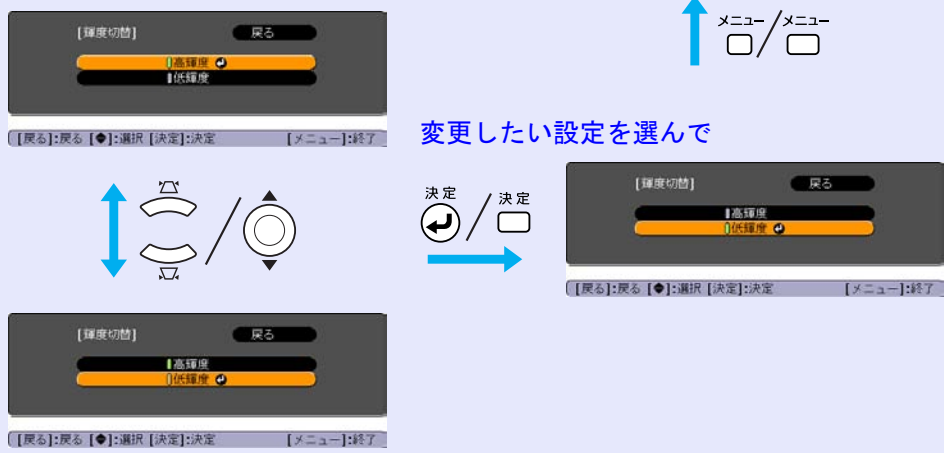
 サブメニューの選択

 選択した項目の変更

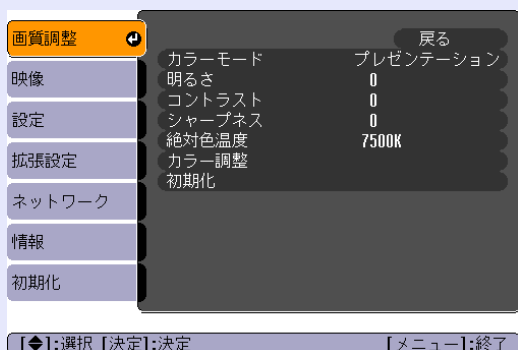
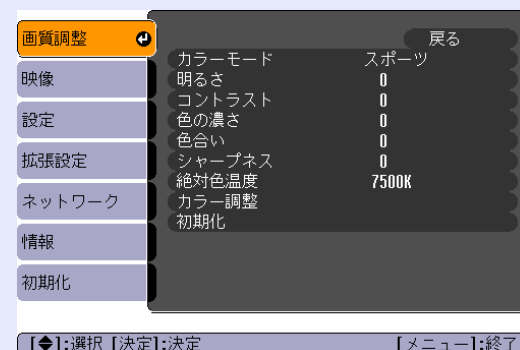
 終了

サブメニュー（設定）

変更したい設定を選んで

使用するボタン

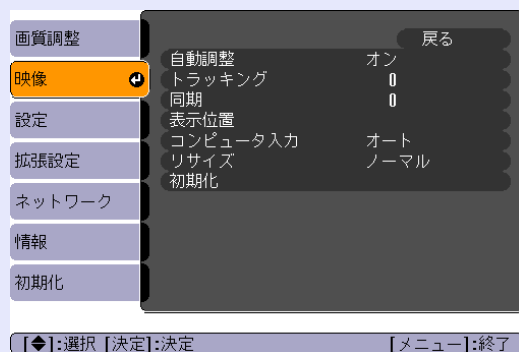
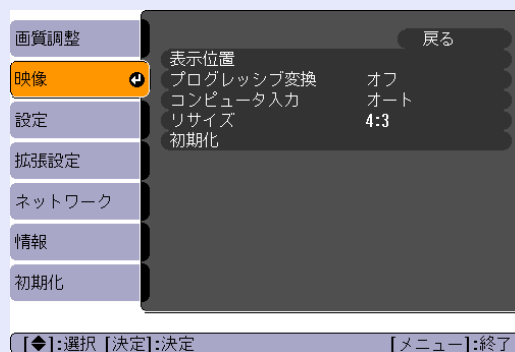
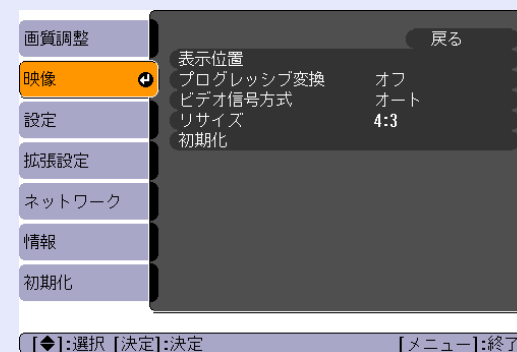
操作パネルの場合

リモコンの場合

画質調整メニュー

現在投写している映像信号により設定できる項目が以下の画面図のとおり異なります。設定した内容は映像信号ごとに保持されます。

コンピュータ映像

コンポーネントビデオ/コンポジットビデオ/S-ビデオ

サブメニュー	機能
カラーモード	使用シーンに応じて、画質を選択できます。 ☛ p. 15
明るさ	映像の明るさを調整します。
コントラスト	映像の明暗の差を調整します。
色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。
色合い	(コンポジットビデオ/S-ビデオの場合は、NTSC系の信号入力時のみ調整可能) 映像の色合いを調整します。
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。
絶対色温度	映像全体の色合いを調整します。5000K〜10000Kの10段階で調整することができます。高い値を選択すると青みがかった映像になり、低い値を選択すると赤みを帯びた映像になります。 (「画質調整」→「カラーモード」の調整値を「sRGB」に設定していると、本項目は選択できません。)
カラー調整	以下のどちらかを選んで調整できます。 **赤、緑、青**:各色の強さを個別に調整します。 (「画質調整」→「カラーモード」の調整値を「sRGB」または「カスタム」に設定していると、本項目は選択できません。) **R、G、B、C、M、Y**:R(赤)、G(緑)、B(青)、C(シアン)、M(マゼンダ)、Y(イエロー)の各色の強さを個別に調整します。 (「画質調整」→「カラーモード」の調整値を「カスタム」に設定しているときだけ、本項目を選択できます。)
初期化	「画質調整」メニューの調整値を初期値に戻します。全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは ☛ p. 38

映像メニュー

現在投写している映像信号により設定できる項目が以下の画面図のとおり異なります。設定した内容は映像信号ごとに保持されます。

コンピュータ映像

コンポーネントビデオ

コンポジットビデオ/S-ビデオ

サブメニュー	機能
自動調整	入力信号が切り替わったときに、映像を最適な状態に自動調整する(オン)/しない(オフ)を設定します。 ☛ p. 47
トラッキング	映像に縦の縞模様が出るときに調整します。 ☛ p. 47
同期	映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。 ☛ p. 47
表示位置	映像の一部が欠けているときに表示位置を上下左右に移動し映像がすべて投写されるように調整します。
プログレッシブ変換	(コンポーネントビデオは、525i/625i信号入力時のみ設定可能) オフ:IP変換を各フィールドの画面内で行います。動きの大きい映像をお楽しみいただくときに適しています。 オン:インタレース(i)信号をプログレッシブ(p)に変換します。静止画に適しています。
コンピュータ入力	コンピュータ(コンポーネントビデオ)端子からの入力信号を選択します。 「オート」にすると、接続機器に応じて自動的に入力信号を設定します。 「オート」に設定していて、色が正しく表示されない場合は、接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。
ビデオ信号方式	「オート」にすると、ビデオ信号を自動認識します。「オート」に設定していて、映像にノイズが入ったり、映像が映らないなどのトラブルが起きるときは、接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。
リサイズ	映像のアスペクト比を設定します。 ☛ p. 17
初期化	「映像」メニューのうち、「コンピュータ入力」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは ☛ p. 38

設定メニュー

EMP-1715/1705のとき

EMP-1710/1700のとき

サブメニュー	機能
台形補正	台形にゆがんだ画面を垂直方向に補正します。☛『セットアップガイド』
自動台形補正	台形補正を自動的に行います。 (「拡張設定」→「設置モード」を「フロント」を選択しているときのみ指定できます)
操作ボタンロック	本機操作パネルの操作制限を設定します。☛ p. 28
ポインタ形状	ポインタの形状を選択します。☛ p. 18 ポインタ1: ポインタ2: ポインタ3:
輝度切替	ランプの明るさを2段階で切り替えることができます。 暗い部屋で投写したり小さなスクリーンに映す場合に、投写映像が明るすぎるときは「低輝度」に設定します。「低輝度」で使用すると、投写中の消費電力、ランプ寿命が次のように変わり、ファン回転音も低下します。消費電力:46W減、ランプ寿命:約1.5倍
音量	音量を調整します。☛『セットアップガイド』
EasyMP音声出力 **(EMP-1715/1705のみ)**	EasyMPの音声の出力方法を設定します。EasyMPの映像投写時のみ設定が有効になります。 「外部出力」に設定すると、外付けアンプ内蔵スピーカから音声を出力することができます。「内蔵スピーカ」に設定すると、本機内蔵のスピーカから音声を出力できます。
初期化	「設定」メニューのすべての調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは ☛ p. 38

拡張設定メニュー

EMP-1715/1705のとき

EMP-1710/1700のとき

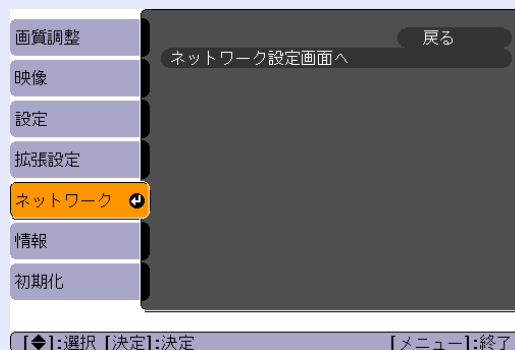
サブメニュー	機能
表示設定	本機の表示に関する設定を行います。 **メッセージ表示**:入力ソースを切り替えたときの入力ソース名、カラーモードを切り替えたときのカラーモード名、映像信号が入力されていないときなどのメッセージ表示を画面に表示する(オン)/しない(オフ)を設定します。 **背景表示**※:映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を「黒」、「青」、「ロゴ」のいずれかで設定します。 **スタートアップスクリーン**※:スタートアップスクリーン(投写開始時に投写される映像)を起動時に表示する(オン)/ しない(オフ)を設定します。 **A/Vミュート**※:A/Vミュート時に表示する画面を「黒」、「青」、「ロゴ」のいずれかで設定します。
ユーザーロゴ※	背景表示、A/Vミュート時などに表示するユーザーロゴを変更します。☛ p. 60
設置モード	本機の設置状態に合わせて次の中から設定します。☛ p. 53 「フロント」 「フロント・天吊り」 「リア」 「リア・天吊り」 リモコンの[A/Vミュート]ボタンを約5秒間押し続けると、天吊りの設定を次のように切り替えることができます。 「フロント」⇔「フロント・天吊り」 「リア」⇔「リア・天吊り」 ※「フロント・天吊り」、「リア・天吊り」に設定している場合は、電源を切った後クールダウンを行うためすぐに電源ケーブルをぬくことはできません。

※ 「パスワードプロテクト」で「ユーザーロゴ保護」を「オン」にしていると、ユーザーロゴに関する設定の変更はできません。「ユーザーロゴ保護」を「オフ」にしてから設定を変更してください。☛ p. 26

サブメニュー	機能
動作設定	**ダイレクトパワーオン**:ダイレクトパワーオンさせる(オン)/させない(オフ)を設定します。 「オン」に設定しているときは、停電復旧時などにコンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると本機の電源がオンになりますので、注意してください。 **スリープモード**: ● 映像信号が未入力のまま、約30分間操作しないと自動的に電源をオフさせる(オン)/させない(オフ)を設定します。 ● レンズカバーを閉じて約30分経つと自動的に電源が切れる(オン)/切らない(オフ)を設定します。 お買い上げ時にはスリープモードは(オフ)になっていますので電源の切り忘れにご注意ください。 **高地モード**:標高約1500m以上でお使いの場合は「オン」にします。
待機モード (EMP-1715/1705のみ)	本機がスタンバイ状態のときも、ネットワーク監視・制御機能を働かせるときは、「ネットワーク有効」に設定します。 ネットワーク経由で本機の状態を監視・制御するにはSNMP▸▸を使うか、あるいは本製品に添付のアプリケーションソフト「EMP Monitor」を使用して行います。
USB Type B (EMP-1715/1705のみ)	本機とコンピュータをUSBケーブルで接続してコンピュータの映像を投写するときには「EasyMP」に設定します。 ☛『かんたん接続ガイド』
Link 21L	ユーティリティソフトEMP Link21L▸▸を使用する/しないを設定します。 (「USB Type B」を「Link 21L」に設定してから選択してください。)
マルチスクリーン	プロジェクター複数台を並べて投写した際の各映像の色合いや明るさの差を補正できます。☛ p.22 **スクリーンID**:複数台のプロジェクターに対し、1つのリモコンを使って「マルチスクリーン」で「画像補正」をするときに、プロジェクターごとに個別のIDを設定しておくと調整対象となるプロジェクターを限定できます。 ここで設定したIDは「マルチスクリーン」で「画像補正」を行うときに限り有効となります。 **画像補正**:以下の調整ができます。 ● 調整レベル:黒から白を5段階に区分し各段階をレベル1～5と呼び、このレベル1～5のすべてのレベルに対して「明るさ補正」と「色補正」を行います。 ● 明るさ補正:製品ごとの明るさのばらつきを補正します。 ● 色補正(緑-赤)/色補正(青-黄):製品ごとの色のばらつきを補正します。
言語	メッセージやメニューに表示する言語を設定します。
初期化	「拡張設定」メニューのうち、「表示設定※1」、「動作設定※2」の調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは ☛ p.38

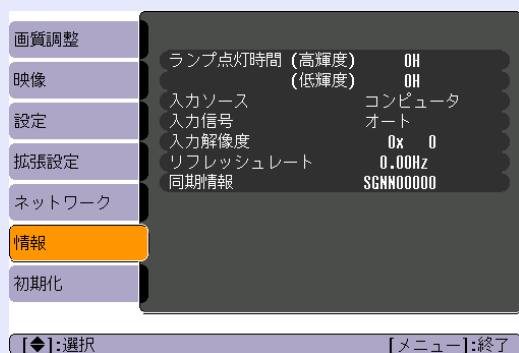
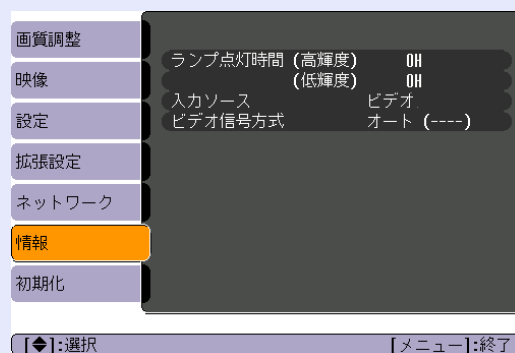
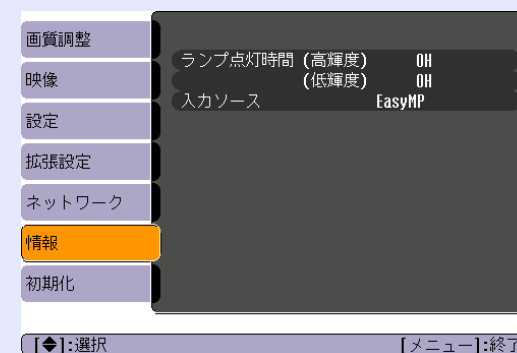
※1 「パスワードプロテクト」で「ユーザーロゴ保護」を「オン」にしていると、ユーザーロゴに関する設定の変更はできません。「ユーザーロゴ保護」を「オフ」にしてから設定を変更してください。☛ p.26
※2 「高地モード」は除く。

ネットワークメニュー(EMP-1715/1705のみ表示)

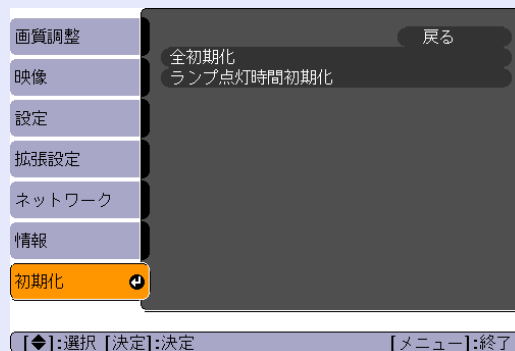
「パスワードプロテクト」で「ネットワーク保護」を「オン」に設定していると、メッセージが表示され設定を変更することはできません。「ネットワーク保護」を「オフ」にしてから操作してください。☛ p. 26

サブメニュー	機能
ネットワーク設定画面へ	ネットワーク設定画面を表示します。☛『EasyMP活用ガイド』「プロジェクター側の準備」、『かんたん接続ガイド』

情報メニュー(表示のみ)

投写している映像信号や本機の状態を確認できます。現在投写している映像信号により表示される項目が以下の画面図のとおり異なります。

コンピュータ映像/コンポーネントビデオ

コンポジットビデオ/S-ビデオ

EasyMP

サブメニュー	機能
ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間※を表示しています。 ランプ寿命警告時間に達すると、文字が黄色に変わります。
入力ソース	現在投写中の機器を接続している入力端子名を表示しています。
入力信号	「映像」メニューの「コンピュータ」の設定内容を「入力ソース」に応じて表示しています。
入力解像度	入力解像度を表示しています。
ビデオ信号方式	「映像」メニューの「ビデオ信号方式」の設定内容を表示しています。
リフレッシュレート	リフレッシュレートを表示しています。
同期情報	映像信号の情報を表示しています。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。

※ 累積使用時間が0～10時間までは「0H」と表示されます。10時間以上は「10H」、「11H」と1時間単位で表示されます。

初期化メニュー

サブメニュー	機能
全初期化	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 「コンピュータ入力」、「ユーザーロゴ」、「マルチスクリーン」、「ネットワーク」メニューの全項目、「ランプ点灯時間」、「言語」は初期値に戻りません。
ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の累積をクリアし、「0H」に戻します。ランプを交換したときに行ってください。

困ったときに

ここでは、想定されるトラブルと、その対処法などについて説明しています。

ヘルプの見方

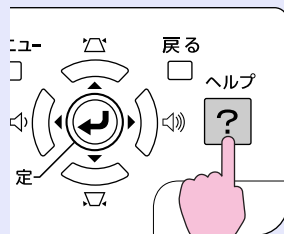
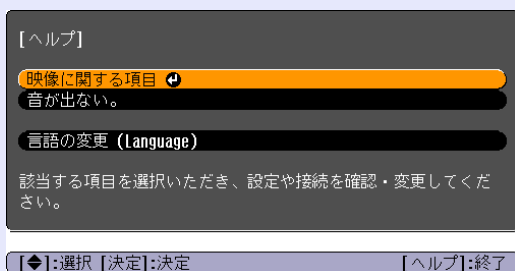
トラブル発生時の解決方法を投写映像に表示できます。質問に答えていくと適切な状態に設定することもできます。

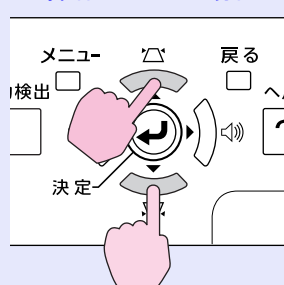
操作

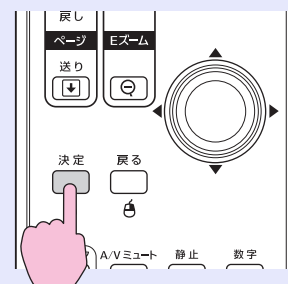
[ヘルプ]ボタンを押します。

ヘルプ画面が表示されます。

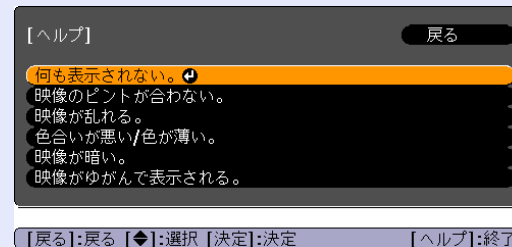
リモコンの場合

操作パネルの場合

2 項目を選択します。

リモコンの場合

操作パネルの場合

3 項目を決定します。

リモコンの場合

操作パネルの場合

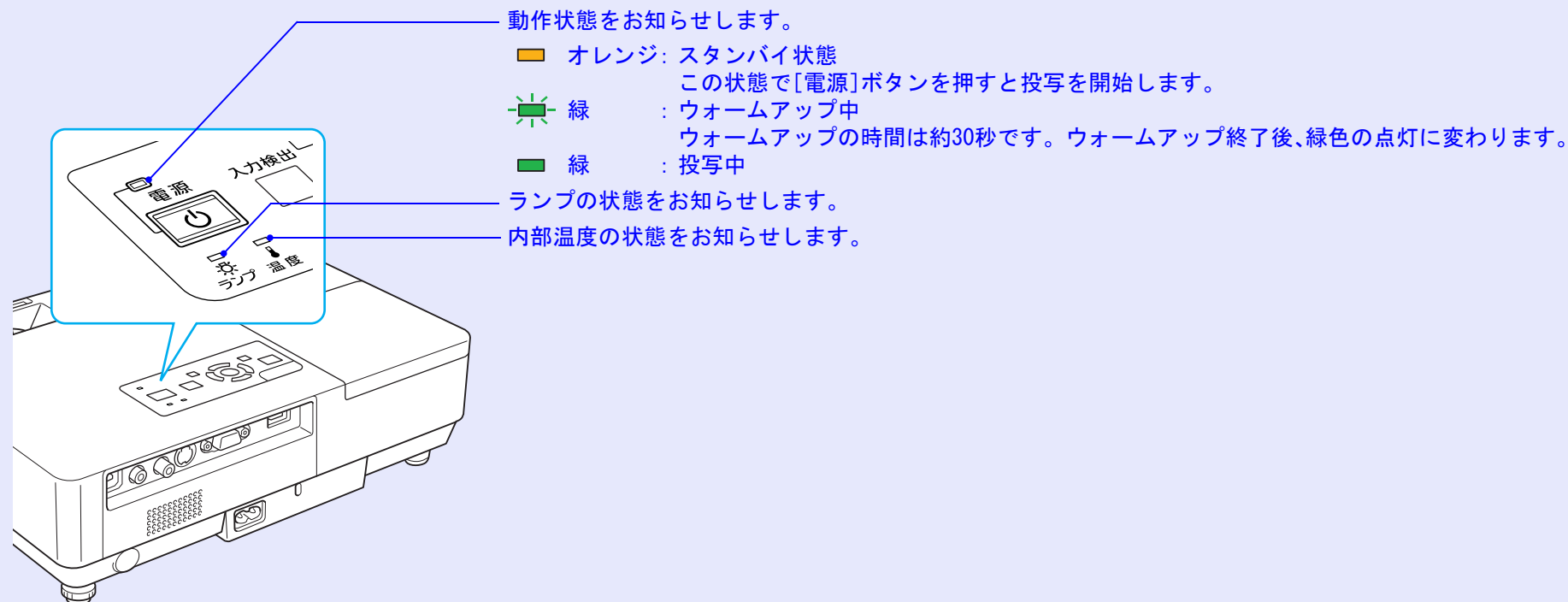
4 手順2、3の操作と同様にさらに詳細な項目を選択・決定します。

[ヘルプ]ボタンを押すとヘルプは解除されます。

ヘルプ機能を使ってもわからないときは、「故障かなと思ったら」(☛ p.41)をご覧ください。

故障かなと思ったら

故障かな？と思ったら、まず本機のインジケータをご覧になり下記の「インジケータの見方」で本機の状態をご確認ください。
インジケータをご覧になってもわからないときは、「インジケータを見てもわからないとき」を確認してください。☛ p.44

インジケータの見方

本機には、次の3種類のインジケータがあり本機の状態をお知らせします。

インジケータの状態とその対処方法については、次の表を参照してください。
インジケータがすべて消灯している場合は、電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。
電源ケーブルを抜いても⏻インジケータがしばらく点灯したままになることがありますが故障ではありません。

⏻インジケータが赤色点灯時 異常

▬:点灯 ✳:点滅 ▭:消灯

状態	原　因	処置または状態
赤 赤 赤 ⏻点灯 ランプ点滅 温度点滅	内部異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または取扱説明書に記載の連絡先に修理を依頼してください。☛ p. 78
赤 赤 ⏻点灯 ランプ消灯 温度点滅	ファン異常 センサ異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または取扱説明書に記載の連絡先に修理を依頼してください。☛ p. 78
赤 赤 ⏻点灯 ランプ消灯 温度点灯	内部高温異常 (オーバーヒート)	ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態で待ちます。約5分後、スタンバイ状態になりますので、次の2点を確認してください。 • エアーフィルタ・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 • エアーフィルタが目詰まりしているときは、掃除または交換をします。☛ p. 54, 59 上記を確認後もエラーになるときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または取扱説明書に記載の連絡先に修理を依頼してください。☛ p. 78
		標高1500m以上の場所でお使いのときは、「高地モード」を「オン」にしてください。☛ p. 35
赤 赤 ⏻点灯 ランプ点滅 温度消灯	ランプ異常 ランプ点灯失敗 ランプカバー開放状態	**次の2点を確認してください。** • ランプを取り出してランプが割れていないか確認します。☛ p. 56 • エアーフィルタを掃除します。☛ p. 54
		割れていないとき → ランプを再セットして、電源を入れます。 **それでもエラーになるとき** → 新しいランプに交換してから電源を入れます。 **それでもエラーになるとき** → ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または取扱説明書に記載の連絡先に修理を依頼してください。☛ p. 78
		割れているとき → お買い上げの販売店または取扱説明書に記載の連絡先にご相談ください(ランプを交換しないと映像を投写することはできません)。☛ p. 78
		ランプカバーやランプが確実に取り付けられているか確認してください。☛ p. 56 ランプカバーとランプの取り付けが不完全なときはランプが点灯しません。
		標高1500m以上の場所でお使いのときは、「高地モード」を「オン」にしてください。☛ p. 35

・インジケータがオレンジ点滅/点灯時 警告

:点灯　:点滅　:消灯　:本機の状態により異なる場合

状態	原　因	処置または状態
赤　オレンジ	高温警告	(異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動停止します。) ● エアーフィルタ・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。 ● エアーフィルタが目詰まりしている場合は、掃除または交換をしてください。☛ p. 54, 59
オレンジ	ランプ交換勧告	新しいランプに交換してください。☛ p. 56 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。すみやかに新しいランプと交換してください。

- インジケータは異常を示してないのに、投写映像が異常のときは、「インジケータを見てもわからないとき」(☛ p.44)をご覧ください。
- 各インジケータがこの表にない状態のときは、販売店または取扱説明書に記載の連絡先にお問い合わせください。☛ p.78

インジケータを見てもわからないとき

まず、下記をご覧になりどのトラブルに該当するかを確認し、参照先で詳細な内容をご覧ください。

映像に関するトラブル

■ 映像が表示されない ☛ p.45
投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になるなど...

■ 動画が表示されない ☛ p.45
コンピュータで再生する動画が黒くなり映像が投写されない。

■ 自動的に投写が消える ☛ p.45

■「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される ☛ p.46

■「映像信号が入力されていません。」と表示される ☛ p.46

■ ぼやける、ピントが合わない ☛ p.46

■ ノイズが入る、乱れる ☛ p.47
ノイズが入る・乱れる・市松模様のようにモノクロのチェックになるなど...

■ 映像が切れる(大きい)、小さい、アスペクトが合っていない ☛ p.47
映像の一部分しか投写されない、映像の縦横の比率が正しくないなど...

■ 色合いが違う ☛ p.48
全体が赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむなど...
(コンピュータのモニタや液晶画面とは色の再現性が異なるため、プロジェクターでの投写映像とモニタでの表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。)

■ 暗い ☛ p.49

投写開始時のトラブル

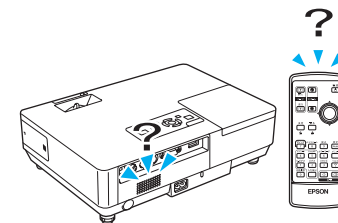
■ 電源が入らない ☛ p.49

その他のトラブル

■ 音が出ない・小さすぎる ☛ p.50

■ リモコンで操作できない ☛ p.50

■ メッセージやメニューが日本語で表示されない ☛ p.51

■ プロジェクターに異常が起きてもメール通知されない ☛ p.51

映像に関するトラブル

■ 映像が表示されない

確認	対処法
[電源]ボタンを押しましたか?	[電源]ボタンを押して電源を入れます。
インジケータがすべて消灯していませんか?	電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。 本機に電源ケーブルを正しく接続してください。☛『セットアップガイド』 または、電気が供給されるようにブレーカーなどを確認してください。
A/Vミュートの状態になっていませんか?	リモコンの[A/Vミュート]ボタンを押してA/Vミュートを解除します。☛ p. 16
レンズカバーが閉じていませんか?	レンズカバーを開きます。
環境設定メニューの設定で間違っているものはありませんか?	全初期化してみてください。☛「初期化」→「全初期化」 p. 38
入力映像そのものが真っ黒になっていませんか? コンピュータ投写時のみ	スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。
映像の信号形式の設定は合っていますか? ビデオ機器投写時のみ	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。☛「映像」→「ビデオ信号方式」 p. 32

■ 動画が表示されない

確認	対処法
コンピュータ映像信号が外部と液晶画面の両方に出力されていませんか? ノートや液晶一体型タイプのコンピュータ投写時のみ	映像信号を外部のみの出力に切り替えます。☛コンピュータに添付の『取扱説明書』、あるいはお使いのコンピュータのメーカーにお問い合わせください。

■ 自動的に投写が消える

確認	対処法
「スリープモード」を「オン」にしていませんか?	[電源]ボタンを押して電源を入れます。「スリープモード」を働かせないときは設定を「オフ」にしてください。☛「拡張設定」→「動作設定」→「スリープモード」 p. 35

■「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？ ビデオ機器投写時のみ	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。☛「映像」→「ビデオ信号方式」 p. 32
映像信号の解像度やリフレッシュレートが対応するモードですか？ コンピュータ投写時のみ	コンピュータから出力されている映像信号の解像度・リフレッシュレートの変更は、コンピュータの取扱説明書などでご確認ください。☛対応解像度一覧 p. 70

■「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛『セットアップガイド』
接続した入力端子を正しく選択していますか？	リモコンか操作パネルの[入力検出]ボタンを押して映像を切り替えます。☛ p. 13
接続されたコンピュータやビデオ機器の電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源を入れます。
プロジェクターに映像信号が出力されていますか？ ノートや液晶一体型タイプのコンピュータ投写時のみ	映像信号がコンピュータの液晶モニタや付属モニタにだけ出力されている場合は、外部にも出力するように切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶モニタや付属モニタに映像が出せないモデルもあります。☛コンピュータの『取扱説明書』「外部出力のしかた」や「外付けモニタへ出力のしかた」など 本機やコンピュータの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピュータの映像信号を外部に切り替える[Fn](ファンクションキー)が働かないことがあります。本機およびコンピュータの電源を入れ直してください。☛『セットアップガイド』

■ ぼやける、ピントが合わない

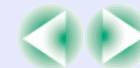
確認	対処法
ピントは正しく調整されていますか？	フォーカスリングを回してピントを合わせます。
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲は99cm〜1211cmです。 この範囲で設置してください。☛ p. 62

確認	対処法
台形補正の調整値を大きくしていませんか?	投写角度を小さくして台形補正の調整値を小さくしてください。☛『セットアップガイド』
レンズが結露していませんか?	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。お使いになる1時間くらい前に使用する部屋に本機を設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。

■ ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか? ビデオ機器投写時のみ	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。☛「映像」→「ビデオ信号方式」 p. 32
ケーブル類は正しく接続されていますか?	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛『セットアップガイド』
ケーブルを延長していませんか?	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。同梱のケーブルを接続して確認してください。
解像度の選択は正しいですか? コンピュータ投写時のみ	本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。 ☛対応解像度一覧 p. 70 ☛コンピュータの『取扱説明書』など
「同期▸▸・トラッキング▸▸」は正しく調整されていますか? コンピュータ投写時のみ	リモコンの[自動調整]ボタンまたは操作パネルの[決定]ボタンを押して、自動調整を行います。自動調整を行っても調整しきれないときは、環境設定メニューの「同期」、「トラッキング」で調整することもできます。☛「映像」→「トラッキング」、「同期」 p. 32

■ 映像が切れる(大きい)、小さい、アスペクトが合っていない

確認	対処法
ワイドパネルのコンピュータ映像を投写していますか? コンピュータ投写時のみ	リモコンの[リサイズ]ボタンを押すたびに「ノーマル」、「4:3」、「16:9」の順でアスペクトモードが切り替わります。解像度に適したアスペクトになるようにアスペクトモードを変更してください。
Eズームで拡大したままになっていませんか?	リモコンの[戻る]ボタンを押してEズーム機能を解除します。☛ p. 19

確認	対処法
「表示位置」は正しく調整されていますか?	コンピュータ映像投写時は、リモコンの[自動調整]ボタンまたは操作パネルの[決定]ボタンを押して、自動調整を行います。自動調整を行っても調整しきれないときは、環境設定メニューの「表示位置」で調整することもできます。 コンピュータ映像以外の信号を投写時は、環境設定メニューの「表示位置」で調整します。 ☛「映像」→「表示位置」 p. 32
デュアルディスプレイの設定をしていませんか? コンピュータ投写時のみ	接続しているコンピュータのコントロールパネルの「画面のプロパティ」でデュアルディスプレイの設定をしていると、コンピュータ画面の映像が半分くらいしか投写されません。コンピュータ画面の映像をすべて投写するときは、デュアルディスプレイの設定を解除します。☛コンピュータのビデオドライバの『取扱説明書』
解像度の選択は正しいですか? コンピュータ投写時のみ	本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。 ☛対応解像度一覧 p. 70 ☛コンピュータの『取扱説明書』など

■ 色合いが違う

確認	対処法
入力信号の設定が接続機器の信号と合っていますか?	以下のとおり接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 コンピュータ(コンポーネントビデオ)端子に接続した機器の映像のとき ☛「映像」→「コンピュータ入力」 p. 32 ビデオ、S-ビデオ端子に接続した機器の映像のとき ☛「映像」→「ビデオ信号方式」 p. 32
映像の明るさは正しく調整されていますか?	環境設定メニューの「明るさ」を調整してください。☛「画質調整」→「明るさ」 p. 31
ケーブル類が正しく接続されていますか?	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛『セットアップガイド』
コントラスト▸▸は正しく調整されていますか?	環境設定メニューの「コントラスト」を調整してください。☛「画質調整」→「コントラスト」 p. 31
適切なカラー調整に設定されていますか?	環境設定メニューの「カラー調整」を調整してください。☛「画質調整」→「カラー調整」 p. 31
色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか? ビデオ機器投写時のみ	環境設定メニューの「色の濃さ」、「色合い」を調整してください。☛「画質調整」→「色の濃さ」、「色合い」 p. 31

■ 暗い

確認	対処法
映像の明るさや輝度は正しく設定されていますか？	環境設定メニューの「明るさ」や「輝度切替」を設定してください。 ☛「画質調整」→「明るさ」 p. 31 ☛「設定」→「輝度切替」 p. 33
コントラストは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「コントラスト」を調整してください。 ☛「画質調整」→「コントラスト」 p. 31
ランプの寿命ではありませんか？	ランプの寿命が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。☛ p. 56

投写開始時のトラブル

■ 電源が入らない

確認	対処法
[電源]ボタンを押しましたか？	[電源]ボタンを押して電源を入れます。
インジケータがすべて消灯していませんか？	電源ケーブルが正しく接続されていないか、電気が供給されていません。 本機に電源ケーブルを正しく接続してください。☛『セットアップガイド』 または、電気が供給されるようにブレーカーなどを確認してください。
電源ケーブルを触ると、インジケータが点いたり消えたりしませんか？	電源ケーブルが接触不良を起こしているか、電源ケーブルが故障している可能性があります。電源ケーブルを差し直してください。それでも直らないときは、ご使用をやめ電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または取扱説明書に記載の連絡先にご相談ください。☛ p. 78
操作ボタンロックが「全ロック」になっていませんか？	操作パネルの[決定]ボタンを約7秒間押し続けると、メッセージが表示されロックが解除されます。☛ p. 28

その他のトラブル

音が出ない・小さすぎる

確認	対処法
音声入力は正しく接続されていますか？	音声入力端子にケーブルを接続しているか確認してください。
「外部出力」の設定になっていませんか？ EMP-1715/1705のみ	EMP-1715/1705をお使いの場合、環境設定メニューの「EasyMP音声出力」の設定が「外部出力」になっていると、本機内蔵のスピーカから音声が出力されません。設定を「内蔵スピーカ」に変更してください。☛「設定」→「EasyMP音声出力」 p. 33
音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。☛『セットアップガイド』
A/Vミュートの状態になっていませんか？	リモコンの[A/Vミュート]ボタンを押してA/Vミュートを解除します。☛ p. 16
オーディオケーブルの仕様は「抵抗なし」となっていますか？	市販のオーディオケーブルを使う場合は「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。

リモコンで操作できない

確認	対処法
リモコンの発光部を本機のリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。 操作可能範囲は、左右約30°、上下約15°です。☛『セットアップガイド』
本機から離れすぎていませんか？	操作可能距離は、約6mです。☛『セットアップガイド』
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光があたっていませんか？	強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置してください。
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きにセットします。☛ p. 55
リモコンのボタンを30秒間以上押し続けませんでしたか？	リモコンのボタンが30秒間以上押されたままの状態になっていると、ボタン操作の信号を送信しなくなります(リモコンのスリープモード)。いったんボタンを離して再操作してください。リモコンが何かの下敷きになってもスリープモードが働くので電池の消耗を防げます。

■ メッセージやメニューが日本語で表示されない

確認	対処法
「言語」の設定は正しいですか？	リモコンまたは操作パネルの[ヘルプ]ボタンを押して、ヘルプメニューの一番下の項目を選択して言語の設定を変更してください。☛ p. 40

■ プロジェクターに異常が起きてもメール通知されない(EMP-1715/1705のみ)

確認	対処法
「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定していますか？	本機がスタンバイ状態のときもメール通知機能を使うためには、環境設定メニューの「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定します。☛「拡張設定」→「待機モード」 p. 35
致命的な異常が発生し、プロジェクターが瞬時に起動停止状態になっていませんか。	瞬時に起動停止したときはメール送信できません。 プロジェクターを確認しても異常状態が復帰しないときは、お買い上げの販売店または取扱説明書に記載の連絡先に修理を依頼してください。
プロジェクターに電源が供給されていますか？	プロジェクターが設置されている地域が停電になっていたり、プロジェクターの電源を取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。

付　録

ここでは、メンテナンス方法など、本機を今後も長くお使いいただくための補足的な知識について説明しています。

いろいろな設置方法

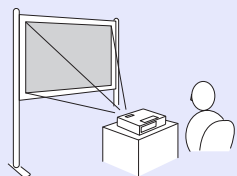
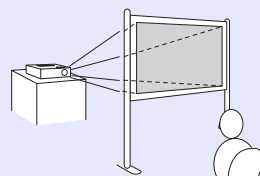
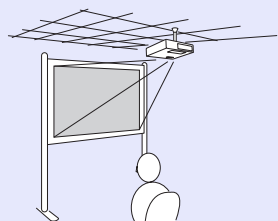
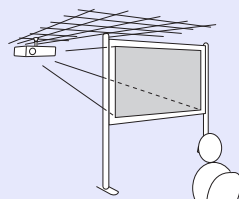
本機の投写方法は、次の4種類があります。設置場所の条件に合わせて設置してください。

⚠ 警告

- 天井への取り付け(天吊り設置)工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となります。
  天吊り設置や天吊り金具の調整に際しては、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。

注意

本機を縦置き状態にして投写しないでください。故障の原因となります。

- 正面から投写する(フロント投写)

- リアスクリーンへ裏側から投写する(リア投写)

- 天吊りして正面から投写する(フロント・天吊り投写)

- 天吊りしてリアスクリーンへ裏側から投写する(リア・天吊り投写)

- 天吊りするには、オプションの天吊り金具が必要です。
  ☛ p.64
- リモコンの[A/V ミュート]ボタンを約 5 秒間押し続けると、次のように設定を切り替えることができます。
  「フロント」⇔「フロント・天吊り」
  「リア」⇔「リア・天吊り」 ☛ p.34
- 「フロント・天吊り」、「リア・天吊り」に設定している場合は、電源を切った後クールダウンを行うためすぐに電源ケーブルをぬくことはできません。☛ p.34

本機が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

本機の掃除

本機の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

注意
ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質、変色することがあります。

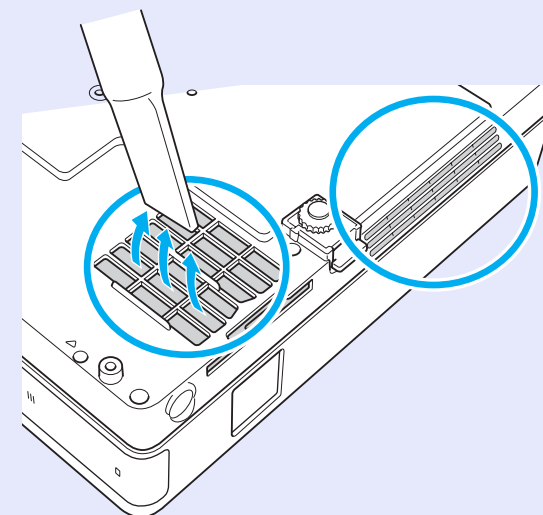
レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

注意
レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

エアーフィルタ・吸気口の掃除

下記のメッセージが表示されたらエアーフィルタや吸気口の掃除をしてください。
「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアーフィルタの掃除、または交換をしてください。」☛「エアーフィルタの交換方法」p. 59

注意
エアーフィルタにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやかにエアーフィルタを掃除してください。

- 掃除をしても頻繁にメッセージが表示されるときは交換時期です。新しいエアーフィルタに交換してください。☛ p.59
- 約3ヶ月に一度は掃除を行うことをお勧めします。 ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。

ここでは、リモコンの電池、ランプ、エアーフィルタの交換方法について説明します。

リモコンの電池の交換方法

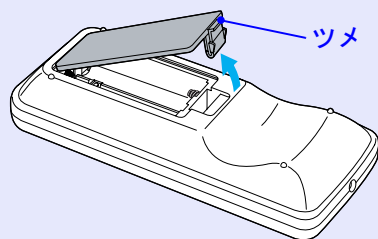
使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなった場合は電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池は単4形アルカリ乾電池2本を用意してください。

注意

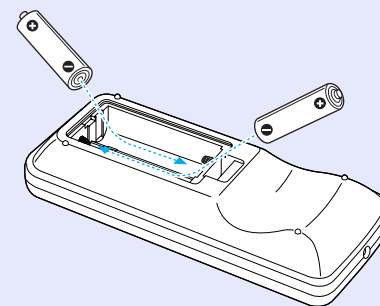
電池を取り扱う前に、別冊の『安全にお使いいただくために』を必ずお読みください。☛『安全にお使いいただくために』

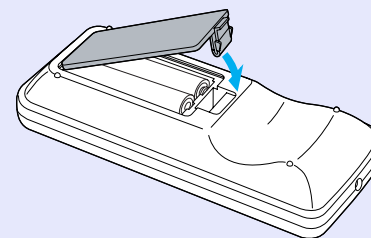
操作

1 電池カバーを外します。

電池カバーのツメを押さえながら、上へ持ち上げます。

2 新しい電池と交換します。

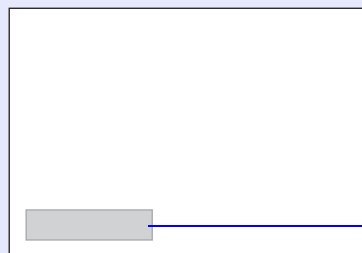
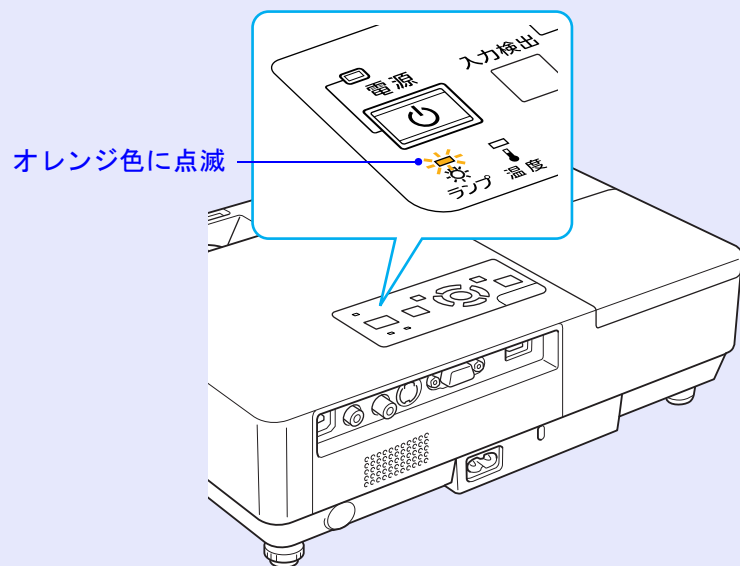
⚠ 注意

電池ホルダ内の表示を確認し、(＋)(－)を正しく入れてください。

3 電池カバーを取り付けます。

カチッと音がするまでカバーを押し込みます。

ランプの交換

ランプの交換時期

次の場合は、ランプを交換してください。

- 投写を開始したときに「投写ランプを交換してください。」とメッセージが表示されたとき

- ランプインジケータがオレンジ色に点滅したとき

- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

注意

- 交換メッセージは、初期の明るさや画質を維持するため、次の時間で表示されます。☛「輝度切替」p.33
  - ・高輝度で使い続けた場合:約1900時間
  - ・低輝度で使い続けた場合:約2900時間
- 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお奨めします。

ランプの交換方法

警告

ランプが点灯しなくなり交換するときは、ランプが割れている可能性があります。
本機を天吊り設置していてランプ交換を行うときは、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーの真下に立たずに、横から作業してください。また、ランプカバーをそっと取り外してください。ランプカバーを開ける際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があります。万一、目や口にガラス破片が入った場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

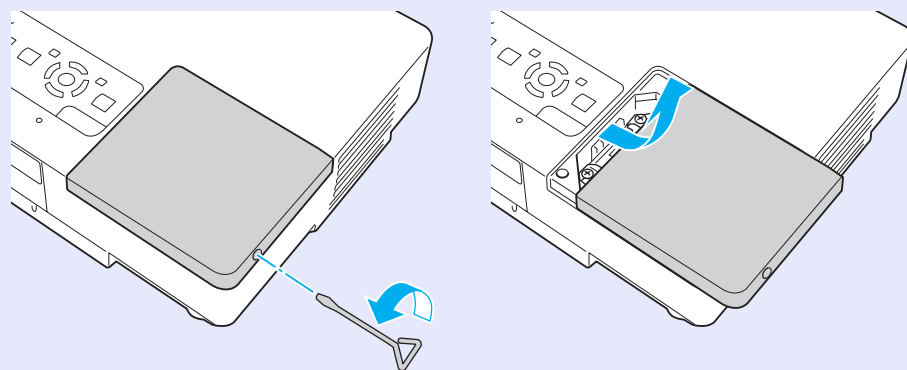
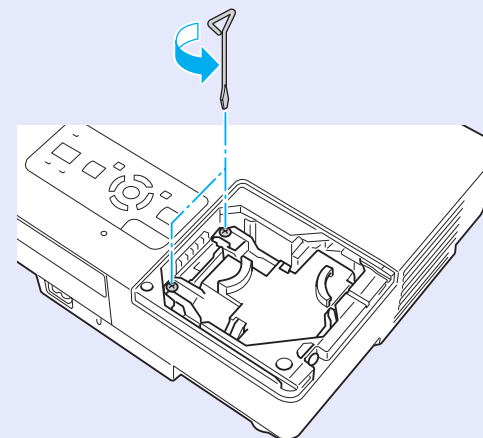
注意

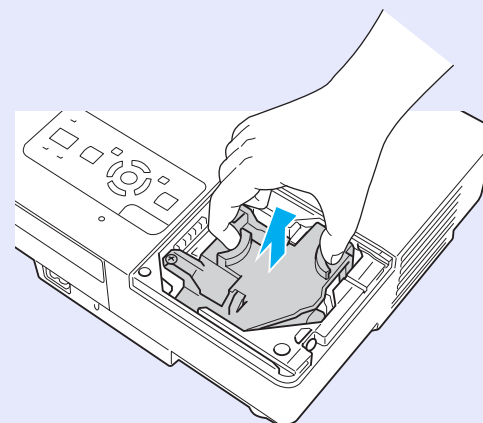
ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。ランプが十分冷えるには、電源を切ってから約1時間必要です。

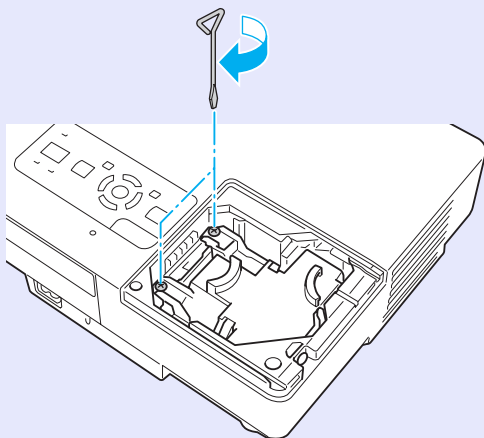
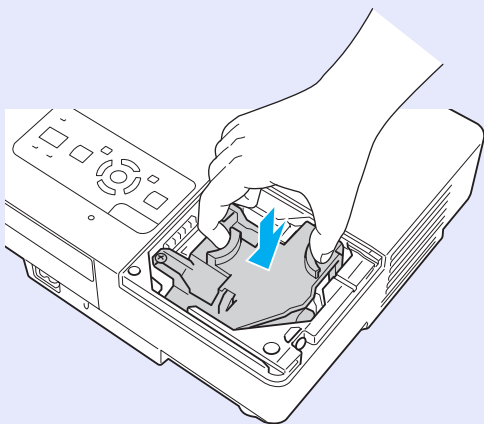
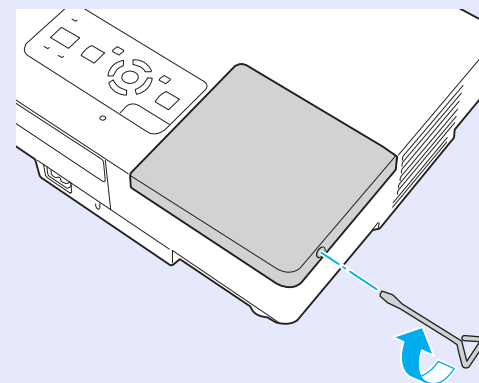
操作

1. **本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源ケーブルを外します。**

2. **ランプが十分冷えてから、本機上面のランプカバーを外します。**

   ランプカバーの固定ネジを交換用ランプに同梱のドライバ、または＋のドライバでゆるめます。ランプカバーをまっすぐスライドさせて、持ち上げて外します。

3. **ランプ固定ねじ2本をゆるめます。**

4. **古いランプをつまんで取り出します。**

   ランプが割れているときは、お買い上げの販売店または取扱説明書に記載の連絡先にご相談ください。
   ☛ p. 78

新しいランプを取り付けます。

ランプを収納部の形に合う向きでガイドレールに沿って入れ、「PUSH」の刻印付近をしっかりと押し込み、ランプ固定ねじ2本を締めます。

ランプカバーを取り付けます。

注意

- ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だとランプが点灯しません。
- ランプには水銀が含まれています。 使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

■ ランプ点灯時間の初期化

本機はランプ点灯時間を記憶し、累計が交換時間に達するとメッセージやインジケータでお知らせします。ランプ交換を実施した後は、環境設定メニューでランプ点灯時間の累計を初期化してください。☛ p. 38

ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外は行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

エアーフィルタの交換

エアーフィルタの交換時期

次の場合はエアーフィルタを交換してください。

- エアーフィルタが破れているとき。
- エアーフィルタの掃除をしても頻繁に「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアーフィルタの掃除、または交換をしてください。」とメッセージが表示されるとき。

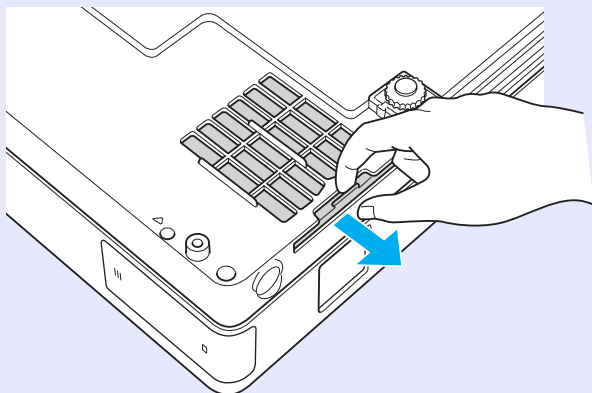
エアーフィルタの交換方法

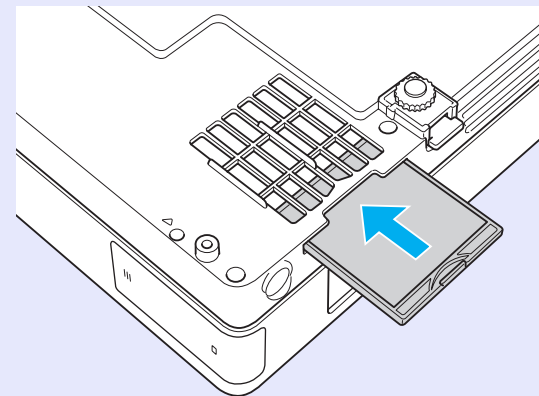
本機は天吊り設置したままでもエアーフィルタの交換ができます。

操作

1 **本機の電源を切り､｢ピッピッ｣と終了音が鳴ってから電源ケーブルを外します。**

2 **エアーフィルタを取り外します。**

エアーフィルタのくぼみに指をかけて､外側にまっすぐスライドさせます。

 新しいエアーフィルタを取り付けます。

外側からエアーフィルタをスライドさせて差し込み､カチッと音がするまで押し込みます。

使用済みのエアーフィルタは､地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは､会社の廃棄ルールに従ってください。
枠部分の材質:ポリカーボネート､ABS樹脂
フィルタ部分の材質:ポリウレタンフォーム

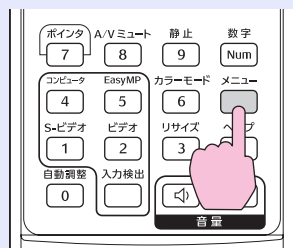
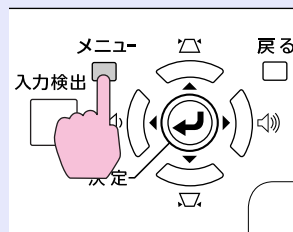
ユーザーロゴの登録

現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。

ユーザーロゴの登録を実行すると、現在登録されているユーザーロゴは消去されます。

操作

ユーザーロゴとして登録したい映像を投写し、[メニュー]ボタンを押します。

リモコンの場合

操作パネルの場合

2 環境設定メニューから「拡張設定」→「ユーザーロゴ」を選びます。☛「環境設定メニューの操作」p.30

使えるボタンと操作はメニューの下に表示されるガイドでご確認ください。

- 「パスワードプロテクト」で「ユーザーロゴ保護」を「オン」に設定しているときは、メッセージが表示され操作することはできません。「ユーザーロゴ保護」を「オフ」にしてから操作してください。☛ p.26
- 台形補正、Eズーム、リサイズ、プログレッシブ変換を行っているときに「ユーザーロゴ」を選択すると、実行している機能は一時的に解除されます。

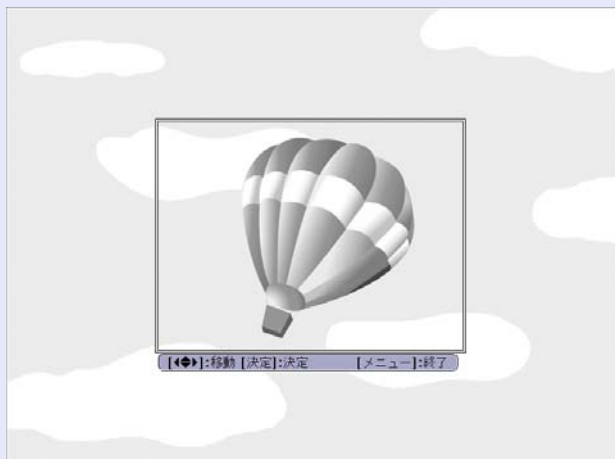
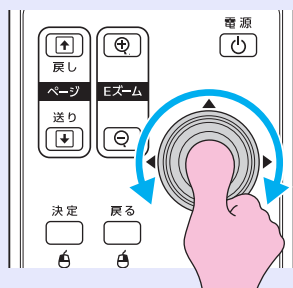
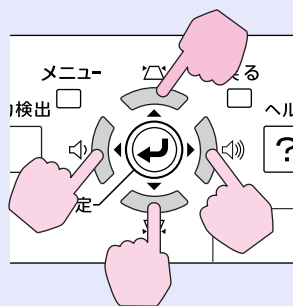
3 「現在投写されている映像の一部をユーザーロゴとして使いますか？」と表示されるので、「はい」を選択します。

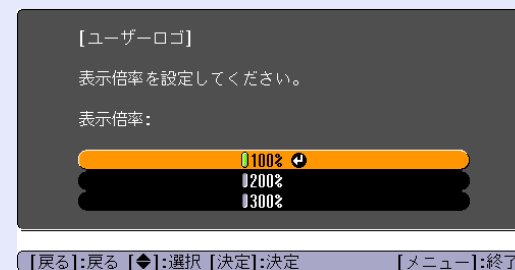
リモコンまたは操作パネルの[決定]ボタンを押すと、映像信号の実際の解像度に切り替わるため、信号によっては画面サイズが変わることがあります。

4 登録する映像と選択枠が表示されるので、ユーザーロゴとして使う位置を選択します。

リモコンの場合

操作パネルの場合

登録できるサイズは400×300ドットです。

5 「この映像を使用しますか？」と表示されるので、「はい」を選択します。

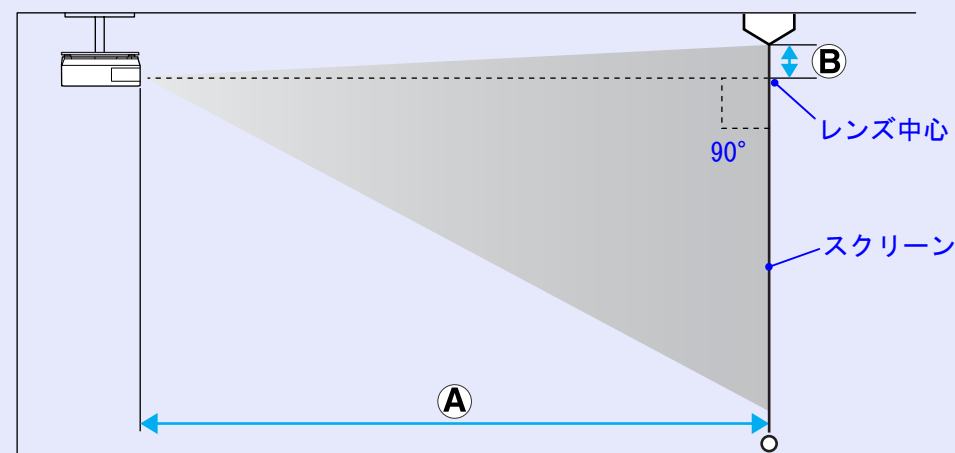
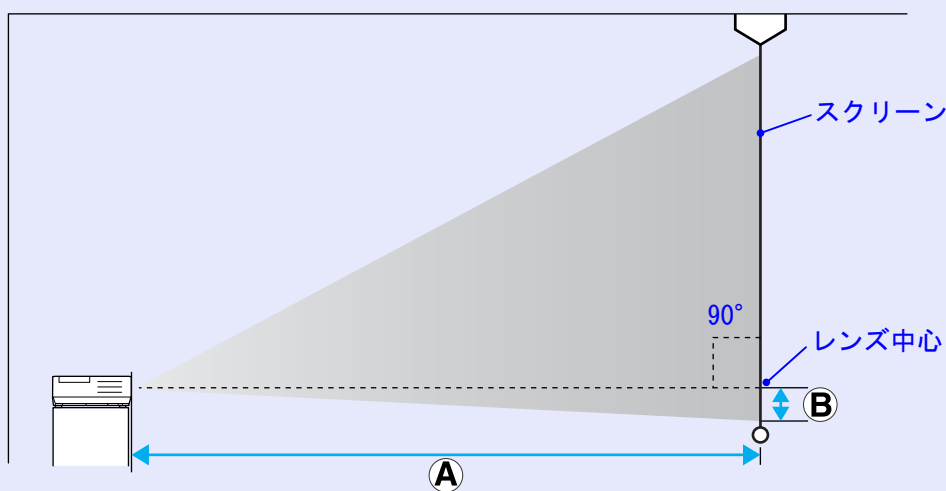
6 表示倍率設定画面で倍率を選択します。

7 「この映像を保存しますか？」とメッセージが表示されるので、「はい」を選択します。

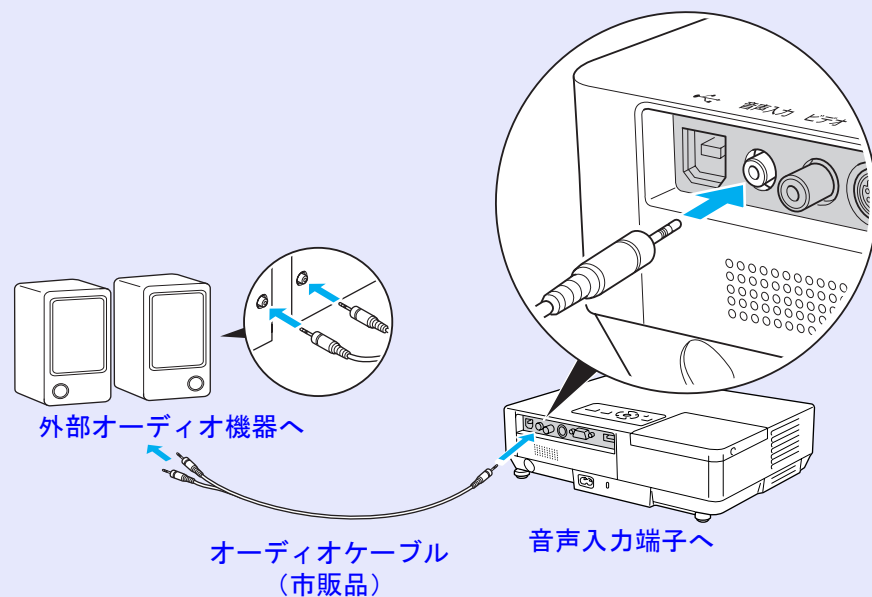
映像が保存されます。保存が終了すると「ユーザーロゴの設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。

- 保存にはしばらく時間がかかります（約15秒）。保存している間は、本機や接続している機器を操作しないでください。故障の原因になります。
- ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。

下表を参考にして、スクリーンに映像が最適な大きさで映るように設置してください。値は目安です。

単位:cm

4:3スクリーンサイズ		投写距離Ⓐ 最短（ズーム調整ワイド）～最長（ズーム調整テレ）	レンズ中心からスクリーン下端までの高さⒷ
30型	61 × 46	99～119	7
40型	81 × 61	133～160	9
50型	100 × 76	166～200	11
60型	120 × 90	200～240	13
80型	160 × 120	267～321	17
100型	200 × 150	335～402	22
120型	240 × 180	402～483	26
150型	300 × 230	503～605	33
200型	410 × 300	672～807	44
300型	610 × 460	1009～1211	65

外部スピーカーとの接続

EasyMPのPC Free機能で投写している映像の音声を外部スピーカーに出力できます。
環境設定メニューの「EasyMP音声出力」を「外部出力」に設定し、本機の音声入力端子と外付けのアンプ内蔵スピーカーを接続すると、迫力あるサウンドが楽しめます。
接続は市販のオーディオケーブル(ピンプラグ⇔3.5mmステレオミニプラグなど)で行います。オーディオケーブルは、外部オーディオ機器のコネクタ形状に合わせて購入してください。

EasyMPのLAN接続で映像を投写している場合は、プロジェクターから音声を出すことはできません。

下記のオプション･消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品類は2006年7月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

オプション品

ソフトキャリングケース　ELPKS16B
ハンドキャリングするときに使います。

60型スクリーン　ELPSC07
80型スクリーン　ELPSC08
100型スクリーン　ELPSC10
携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比4:3)

携帯スクリーン(50型)　ELPSC06
持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。(アスペクト比4:3)

コンピュータケーブル　ELPKC02
(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用1.8m)
製品同梱のコンピュータケーブルと同等品です。

コンピュータケーブル　ELPKC09
(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 3m)
コンピュータケーブル　ELPKC10
(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 20m)
製品同梱のコンピュータケーブルでは短いときの延長ケーブルです。

D端子ケーブル　ELPKC22
(ミニD-Sub 15pin/D端子用 3m)
BSデジタル放送チューナと接続するときに使います。

コンポーネントビデオケーブル　ELPKC19
(ミニD-Sub 15pin/RCAオス×3用 3m)
コンポーネントビデオを投写するときに使います。

マルチメディアビューワー　ELPDC05
書籍やOHP原稿、スライドを投写するときなどに使います。

有線LANユニット　ELPAP02
LANケーブルを使ってネットワーク接続するときに使います。

天井プレート※　ELPFC03
パイプ370(370mm シルバー)※　ELPFP04
パイプ570(570mm シルバー)※　ELPFP05
パイプ770(770mm シルバー)※　ELPFP06
高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。

天吊り金具※　ELPMB18
本機を天井に取り付けるときに使います。

※　天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店または取扱説明書に記載の連絡先にご相談ください。☛ p.78

消耗品

交換用ランプ　ELPLP38
使用済みランプと交換します。

エアーフィルタ(2枚入り)　ELPAF08
使用済みエアーフィルタと交換します。

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細に付いては市販の書籍などを利用してください。

EMP Link21L	本機をコンピュータと接続して、コンピュータから本体の制御を行うユーティリティソフトです。 ご提供方法やソフトの詳細についてはセイコーエプソンのホームページをご覧ください。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 ● 垂直解像度750p、1125i以上(pはプログレッシブ走査、iはインタレース走査) ● 画面のアスペクト比は16:9 ● ドルビーデジタル音声の受信、再生(あるいは出力)
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビジョン放送のことです。
SNMP	Simple Network Management Protocolの略で、TCP/IPネットワークにおいてルータやコンピュータ、端末などネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。
S-ビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 Y(輝度信号)C(色信号)の2つの独立した信号からできている映像をいいます。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピュータのオペレーティングシステム(OS)やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。 接続している機器にsRGBモードがある場合、本機と接続機器の両方ともsRGBに設定します。
SVGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横800ドット×縦600ドットのものを呼びます。
SXGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,280ドット×縦1,024ドットのものを呼びます。
VGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横640ドット×縦480ドットのものを呼びます。
XGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,024ドット×縦768ドットのものを呼びます。
アスペクト比	画面の縦と横の比率をいいます。 縦横の比率が16:9と横長になっている画面をワイド画面といいます。 標準画面のアスペクト比は4:3です。
インタレース	1つの画面を表示するときに情報を横方向に細かい線に分け、左から右へ、上から下へ順次表示させます。 このとき偶数線分と奇数線分を交互に表示する方法をいいます。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。 この調整をコントラストの調整といいます。
コンポーネントビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 ハイビジョンにおいて、Y(輝度信号)Pb、Pr(色差信号)の3つの独立した信号からできている映像をいいます。
コンポジットビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号(NTSC、NTSC4.43、PAL、M-PAL、N-PAL、PAL60、SECAM)です。

スクイーズモード	16:9の横長ワイド映像を水平方向に圧縮して、4:3の映像としてビデオソフトに収録する方法です。 本機のスクイーズモードを使って投写すると、元の16:9のワイド映像に戻ります。
同期	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
セキュリティスロット	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。マイクロセーバーセキュリティシステムの詳細は、Kensingtonのホームページhttp://www.kensington.com/でご確認ください。
トラッキング	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数に本機の周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数(山の数)を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
ドルビーデジタル	ドルビー研究所で開発されたサウンド方式です。通常のステレオは2つのスピーカーを用いた2ch方式ですが、ドルビーデジタルは、それにセンタースピーカー、リア2chスピーカー、サブウーファを追加した6ch(5.1ch)方式となっています。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を上から下へ順次走らせて一画面を構成する方式をいいます。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で表します。

コマンドリスト

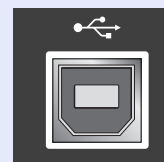
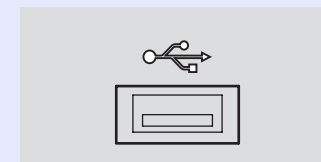
本機に電源オンのコマンドを送信すると、電源が入りウォームアップ状態になります。本機は電源オンの状態になったときにコロン':'(3Ah)を返信します。
このように本機はコマンドを受け取ると、そのコマンドを実行後':'を返信し、次のコマンドを受け付けます。
異常終了のときは、エラーメッセージを出力した後に':'を返信します。

項目		コマンド
電源のオン/オフ	オン	PWR ON
	オフ	PWR OFF
信号切り替え	コンピュータ(オート)	SOURCE 1F
	コンピュータ	SOURCE 11
	コンポーネントビデオ	SOURCE 14
	ビデオ	SOURCE 41
	S-ビデオ	SOURCE 42
	EasyMP(EMP-1715/1705のみ)	SOURCE 50
A/Vミュート機能のオン/オフ	オン	MUTE ON
	オフ	MUTE OFF
A/Vミュート機能の切り替え	黒	MSEL 00
	青	MSEL 01
	ロゴ	MSEL 02

※ 各コマンドの最後に、復帰(CR)コード(0Dh)を追加して送信してください。

ケーブル配線

USB接続

コネクタ形状:USB(Bタイプ)

※ USB Type A端子(EMP-1715/1705のみ)はUSBハブとしては使えません。

USB通信の準備

USB接続による通信で本機をESC/VP21コマンドで制御するには、事前に次の準備が必要です。

操作

1. **エプソンのホームページからお使いのコンピュータに「USB通信ドライバ(USB-COM　Driver)」をダウンロードします。**

   URLは下記のとおりです。
   http://www.epson.jp/products/download/elp/menu.htm

2. **お使いのコンピュータにそのUSB 通信ドライバをインストールします。**

   ダウンロード画面の注意事項をお読みください。

3. **本機の環境設定メニューで「拡張設定」→「Link 21L」を「オン」に設定します。**

   EMP-1715/1705をお使いの場合
   本機の環境設定メニューで「拡張設定」→「USB Type B」を「Link 21L」に設定してから、「Link 21L」を「オン」に設定してください。

PJLinkについて(EMP-1715/1705のみ)

JBMIA(社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会)によりネットワーク対応プロジェクターの制御用プロトコルの標準化が進められ、制御用標準プロトコルPJLink Class1が策定されました。
本機は、JBMIA が策定したPJLink Class1の規格に適合しています。
PJLink Class1で定義されているコマンドのうち、以下の内容を除く全コマンドに対応しており、PJLink 規格適合性検証で適合を確認しています。

非対応コマンド

機　　能		PJLinkコマンド
ミュート設定	映像ミュート設定	AVMT 11
	映像ミュート解除	AVMT 10
	音声ミュート設定	AVMT 21
	音声ミュート解除	AVMT 20

PJLinkで定義している入力名と本機の入力端子の対応

入力端子	PJLinkコマンド
コンピュータ	INPT 11
ビデオ	INPT 21
S-ビデオ	INPT 22

「メーカ名問合せ」で表示するメーカ名

EPSON

「機種情報問合せ」で表示する機種名

EMP-1715/1705

■ コンピュータ映像

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)	リサイズ表示時使用画素数(ドット)
VGAEGA		640×350	1024×560
VGA	60, iMac※	640×480	1024×768
VESA	72/75/85	640×480	1024×768
SVGA	56/60/72/75/85, iMac※	800×600	1024×768
XGA	60/70/75/85, iMac※	1024×768	1024×768
SXGA	70/75/85	1152×864	1024×768
SXGA	60/75/85	1280×960	1024×768
SXGA	60/75/85	1280×1024	960×768
SXGA+	60/75/85	1400×1050	1024×768
UXGA	60	1600×1200	1024×768
MAC13”		640×480	1024×768
MAC16”		832×624	1024×768
MAC19”		1024×768	1024×768
MAC19”	60	1024×768	1024×768
MAC21”		1152×870	1016×768
SDTV(525i)	60	720×480	1024×768
SDTV(625i)	50	720×576	1024×768
SDTV(525p)	60	720×480	1024×768
SDTV(625p)	50	720×576	1024×768
HDTV(750p)	50/60	1280×720	1024×576
HDTV(1125i)	50/60	1920×1080	1024×576

※ VGA出力ポートが装着されていない機種には接続できません。
上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。
ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

■ コンポーネントビデオ

信号	リフレッシュレート(Hz)	使用画素数(ドット)	
		アスペクト比 4:3	アスペクト比 16:9
SDTV(525i)	60	1024×768	1024×576
SDTV(625i)	50	1024×768	1024×576
SDTV(525p)	60	1024×768	1024×576
SDTV(625p)	50	1024×768	1024×576
HDTV(750p) 16:9	50/60	1024×768	1024×576
HDTV(1125i) 16:9	50/60	1024×768	1024×576

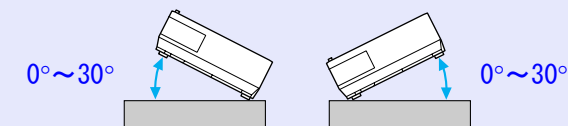
■ コンポジットビデオ/S-ビデオ

信号	リフレッシュレート(Hz)	使用画素数(ドット)	
		アスペクト比 4:3	アスペクト比 16:9
TV(NTSC, NTSC4.43)	60	1024×768	1024×576
TV(PAL, M-PAL, N-PAL, PAL60, SECAM)	50	1024×768	1024×576

商品名			EMP-1715/1705	EMP-1710/1700
外形サイズ			幅273×高さ68×奥行き193mm(突起部は除く)	
パネルサイズ			0.7型	
表示方式			ポリシリコンTFTアクティブマトリクス	
画素数			786432個 XGA(横1024×縦768ドット)×3	
フォーカス調整			手動	
ズーム調整			手動(約1-1.2)	
ランプ			UHEランプ　定格170W　型番:ELPLP38	
音声最大出力			1Wモノラル	
スピーカー			1個	
電源			100-240V AC ±10%, 50/60Hz AC 2.7-1.2A	
消費電力	100-120Vエリア		定格消費電力 244W 待機時消費電力(ネットワーク無効):3.8W 待機時消費電力(ネットワーク有効):18W	
	200-240Vエリア		定格消費電力 228W 待機時消費電力(ネットワーク無効):5.1W 待機時消費電力(ネットワーク有効):18W	
動作高度標高			約0m～2286m	
動作温度範囲			5℃～35℃(結露しないこと)	
保存温度範囲			－10℃～＋60℃(結露しないこと)	
質量			約1.7Kg	約1.6Kg
接続端子	コンピュータ(コンポーネントビデオ)端子	1系統	ミニD-Sub　15pin(メス)青	
	音声入力端子	1系統	ステレオミニピンジャック	
	S-ビデオ端子	1系統	ミニDIN　4pin	
	ビデオ端子	1系統	RCAピンジャック	
	USB端子※1	1系統	USBコネクタ(Aタイプ) USBコネクタ(Bタイプ)	USBコネクタ(Bタイプ)
	USB端子(無線/有線LANユニット専用※2)	1系統	USBコネクタ(Aタイプ)	－

※1 USB端子は、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。
※2 同梱品の無線LANユニットまたはオプション品の有線LANユニット専用です。

本機にはPixelworks DNX™のICが搭載されています。

傾斜角度

30°以上傾けてお使いになると、故障や事故の原因となります。

Safety standards

USA
UL60950-1

Canada
CSA C22.2 No.60950-1

EU
The Low Voltage Directive
(73/23/EEC)
IEC/EN60950-1

EMC standards

USA
FCC Part 15B Class B (DoC)

Canada
ICES-003 Class B

EU
The EMC Directive
(89/336/EEC)
EN55022, Class B
EN55024
IEC/EN61000-3-2
IEC/EN61000-3-3

Australia/New Zealand
AS/NZS CISPR 22:2002 Class B

DECLARATION of CONFORMITY
According to 47CFR, Part 2 and 15
Class B Personal Computers and Peripherals; and/or
CPU Boards and Power Supplies used with Class B
Personal Computers

We :Epson America, Inc.
Located at :3840 Kilroy Airport Way
MS: 3-13
Long Beach, CA 90806
Tel :562-290-5254

Declare under sole responsibility that the product identified herein, complies with 47CFR Part 2 and 15 of the FCC rules as a Class B digital device. Each product marketed, is identical to the representative unit tested and found to be compliant with the standards. Records maintained continue to reflect the equipment being produced can be expected to be within the variation accepted, due to quantity production and testing on a statistical basis as required by 47CFR 2.909. Operation is subject to the following two conditions : (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Trade Name :EPSON

Type of Product :Projector

Model :EMP-1715/EMP-1710
EMP-1705/EMP-1700

FCC Compliance Statement
For United States Users

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio or television reception. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause interference to radio and television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures.

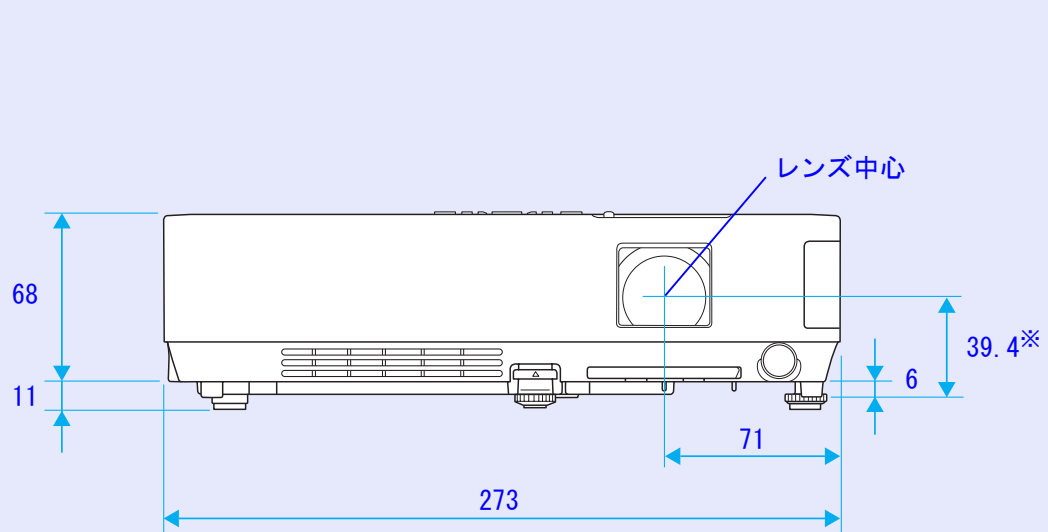
- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING

The connection of a non-shielded equipment interface cable to this equipment will invalidate the FCC Certification or Declaration of this device and may cause interference levels which exceed the limits established by the FCC for this equipment. It is the responsibility of the user to obtain and use a shielded equipment interface cable with this device. If this equipment has more than one interface connector, do not leave cables connected to unused interfaces. Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC Radiation Exposure Statement:

The wireless LAN 802.11a/b/g adapter Model: WN6501CEP complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This device should be installed and operated with minimum distance 20 cm between the radiator and your body.

外形寸法図

※レンズ中心から天吊固定部までの寸法

単位:mm

数字・アルファベット

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

ワ

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
(4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(裏表紙参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
(7) 本書中のイラストと実際の機器の形状は異なる場合があります。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にてお求めください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

電源高調波について

この装置は、JIS C 61000-3-2「高調波電流発生限度値」に適合しております。

商標について

IBM、DOS/V、XGAは、International Business Machines Corp.の商標または登録商標です。
Macintosh、Mac、iMacは、Apple Computer Inc.の登録商標です。
Windows、Windows NT、VGAは米国マイクロソフト社の商標または登録商標です。
ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。
Pixelworks、DNXはPixelworks社の商標です。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

EPSON

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●プロジェクターインフォメーションセンター　製品の操作方法・お取り扱い等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。
ナビダイヤル 0570−004110　【受付時間】月〜金曜日9:00〜20:00　土曜日10:00〜17:00（祝日・弊社指定休日を除く）
＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、（0263）54-5800までお電話ください。

●エプソンサービスコールセンター
修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600　【受付時間】9:00〜17:30　月〜金曜日（祝日・弊社指定休日を除く）

上記電話番号はKDDI株式会社の電話サービス KDDI光ダイレクト を利用しています。
なお、下記のように一部ご利用いただけない場合もございます。
＊一部のPHSからおかけいただく場合
＊一部のIP電話事業者からおかけいただく場合
（ご利用の可否はIP電話事業者間の接続状況によります。上記番号への接続可否についてはご契約されているIP電話事業者へお問い合わせください。）
上記番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、（042）511-2949におかけくださいますようお願いいたします。
また、ご利用の通話料金は、ご契約されている通信事業者からの請求に、KDDIからの請求が追加されます。

●修理品送付・持ち込み依頼先
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠 点 名	所　在　地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日〜金曜日　9:00〜17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●ドアtoドアサービス（修理品有償ピックアップサービス）に関するお問い合わせ先
ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。
ドアtoドアサービス受付電話　ナビダイヤル 0570−090−090　【受付時間】月〜金曜日9:00〜17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州（中国地方を除く）	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日〜金曜日9:00〜17:30（祝日、弊社指定休日を除く）※松本修理センターは365日受付可。
＊平日の17:30〜20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00〜20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.epson.jp/showroom/
エプソンスクエア新宿　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル1F
【開館時間】　月曜日〜金曜日　9:30〜17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047　大阪市中央区淡路町3-6-3　NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】　月曜日〜金曜日　9:30〜17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入
お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ（ホームページアドレス http://epson-supply.jp またはフリーコール 0120−251528）でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5

70306002